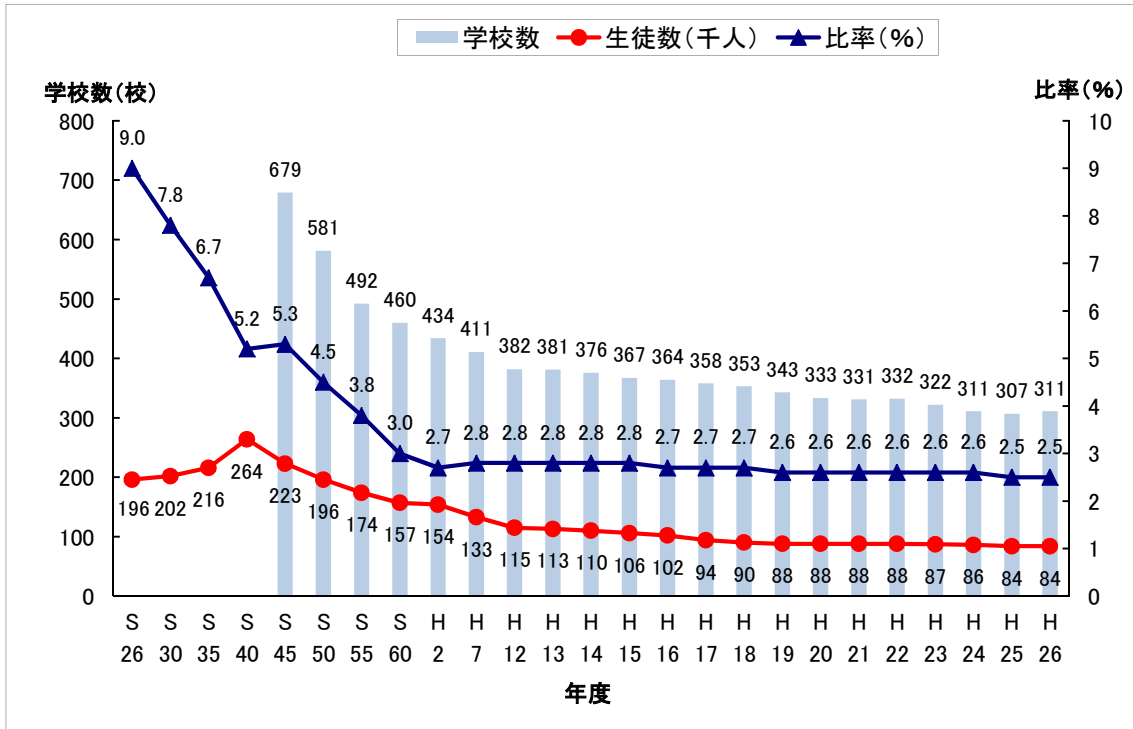


職業に関する各教科別参考資料

農業高校の現状

1. 生徒数及び学校数の推移



年度	S26	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
生徒数(千人)	196	202	216	264	223	196	174	157	154	133	115	113	110	106	102	97	94	90	88	88	88	87	86	84	84
比率(%)	9.0	7.8	6.7	5.2	5.3	4.5	3.8	3.0	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5
学校数					679	581	492	460	434	411	382	381	376	367	364	358	353	343	333	331	332	322	311	307	311

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

(注1) 「比率」は全高校生に占める割合。

(注2) 昭和40年以前の「学校数」については学校基本統計(学校基本調査報告書)において該当項目がないため記載していない。

2. 生徒の進路状況

①進路状況 (%)

	大学・短大等	専修学校等	就職	その他
元年3月卒	6.3	15.7	75.2	2.8
6年3月卒	6.5	21.2	67.9	4.5
11年3月卒	10.2	25.3	54.1	10.4
16年3月卒	13.0	27.7	51.5	7.8
19年3月卒	13.9	26.5	52.8	6.8
20年3月卒	14.2	25.6	54.5	5.7
21年3月卒	14.5	25.8	53.2	6.5
22年3月卒	15.6	29.6	47.5	7.3
23年3月卒	14.8	29.5	49.3	6.5
24年3月卒	13.7	29.6	51.0	5.8
25年3月卒	13.8	29.5	51.9	4.9
26年3月卒	13.2	29.0	53.2	4.5

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

②職業別就職状況 (%)

	専門的・技術的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	保安職業従事者	農林業従事者	漁業従事者	運輸・通信従事者	生産工程従事者	輸送・機械運転従事者	建設・採掘従事者	運搬・清掃等従事者	その他
元年3月卒	3.1	6.4	17.6	11.7	3.7	5.2	0.1	2.1	48.6	—	—	—	1.4
6年3月卒	5.2	7.6	16.5	14.8	2.6	4.3	0.1	2.2	45.1	—	—	—	1.6
11年3月卒	4.2	4.0	13.0	17.2	2.2	4.8	0.1	2.0	50.0	—	—	—	2.5
16年3月卒	4.3	3.8	12.5	20.9	3.4	6.5	0.2	1.6	44.9	—	—	—	1.9
19年3月卒	3.6	4.3	11.6	16.3	4.1	4.1	0.1	2.0	52.4	—	—	—	1.4
20年3月卒	4.0	4.6	11.1	16.0	3.9	3.6	0.1	2.0	53.3	—	—	—	1.4
21年3月卒	4.6	4.8	10.5	16.4	4.0	3.9	0.1	2.0	52.2	—	—	—	1.6
22年3月卒	6.6	4.3	9.9	22.0	2.5	5.7	0.2	1.8	44.9	—	—	—	2.0
23年3月卒	5.3	3.5	9.6	22.5	2.8	6.0	0.4	—	39.4	2.0	5.8	1.3	1.4
24年3月卒	5.3	3.9	10.1	21.9	2.6	5.2	0.1	—	39.4	1.8	6.3	2.0	1.3
25年3月卒	4.0	3.8	10.3	24.2	3.6	5.2	0.2	—	36.0	2.2	6.4	2.9	1.4
26年3月卒	4.3	4.0	10.2	23.3	3.6	5.7	0.2	—	34.6	2.1	6.7	3.6	1.7
(分母:14,248人)	613人	576人	1,455人	3,317人	512人	806人	32人	—	4,933人	301人	948人	508人	247人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

③産業別就職状況 (%)

	農業・林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸業・郵便業・情報通信業	卸売業・小売業・飲食店・宿泊業
元年3月卒	4.9	0.1	0.1	5.9	43.7	0.4	3.1	20.6
6年3月卒	3.8	0.1	0.1	11.2	34.6	0.6	3.4	19.8
11年3月卒	4.5	0.1	0.3	13.8	37.1	0.7	2.8	16.6
16年3月卒	6.6	0.2	0.1	9.1	34.9	0.4	3.3	20.7
19年3月卒	4.3	0.1	0.1	5.6	44.6	0.5	4.1	19.2
20年3月卒	3.6	0.2	0.1	5.6	46.6	0.5	4.0	18.9
21年3月卒	3.9	0.1	0.1	5.0	45.4	0.7	4.1	18.5
22年3月卒	5.5	0.2	0.3	7.9	34.5	1.4	3.7	20.7
23年3月卒	5.6	0.2	0.1	7.3	38.0	0.6	3.6	19.4
24年3月卒	5.4	0.1	0.04	7.7	38.0	0.5	3.6	19.6
25年3月卒	4.9	0.1	0.1	8.6	34.5	0.4	4.2	20.7
26年3月卒	4.9	0.1	0.1	9.2	33.0	0.3	4.4	20.9
(分母:14,248人)	698人	17人	20人	1,313人	4,708人	47人	620人	2,976人

	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	教育・学習支援事業	医療・福祉	各種サービス業	公務	その他
元年3月卒	0.4	0.1	—	—	14.3	5.8	0.9
6年3月卒	0.4	0.1	—	—	20.0	5.2	0.7
11年3月卒	0.2	0.1	—	—	19.2	3.5	1.2
16年3月卒	0.2	0.3	0.1	4.4	14.8	4.2	0.8
19年3月卒	0.2	0.1	0.1	4.1	11.3	4.7	0.8
20年3月卒	0.2	0.1	0.1	4.1	10.8	4.6	0.6
21年3月卒	0.3	0.2	0.1	4.9	11.5	4.3	0.8
22年3月卒	0.3	0.1	0.2	7.9	13.2	3.1	1.0
23年3月卒	0.1	0.2	0.2	8.6	12.3	3.0	0.8
24年3月卒	0.1	0.3	0.2	9.1	12.0	2.7	0.6
25年3月卒	0.2	0.3	0.1	9.4	11.8	3.9	0.9
26年3月卒	0.2	0.5	0.1	8.7	12.4	4.1	0.9
(分母:14,248人)	28人	77人	19人	1,242人	1,773人	587人	123人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

3. 小学科別学科数及び生徒数の推移

①学科数

小学科	学科数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
農業関係	241	229	210	187	185	183	183	192	185	180	184
園芸関係	186	148	140	130	118	116	118	111	109	111	111
畜産関係	61	46	41	38	37	37	34	36	35	35	36
食品科学関係	132	123	128	117	111	113	117	119	117	114	118
農業土木関係	101	74	69	55	54	55	56	52	47	44	44
農業機械関係	19	15	14	12	12	12	11	10	10	10	10
造園関係	72	69	73	67	65	66	64	63	61	60	63
林業関係	70	55	49	39	38	36	38	37	36	33	33
生活科学関係	180	128	95	69	65	64	63	60	59	56	56
農業経済関係	—	88	75	55	45	45	45	48	46	44	42
生物工学関係	—	39	40	38	35	34	33	34	31	31	30
その他	204	71	86	85	83	84	86	75	72	78	84
計	1,266	1,085	1,020	892	848	845	848	837	808	796	811

②生徒数

(人)

小学科	生徒数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
農業関係	25,133	24,767	21,516	19,113	19,160	19,238	19,446	20,051	19,602	19,170	18,894
園芸関係	20,506	16,210	14,432	12,688	12,450	12,210	12,370	11,797	11,656	11,382	11,316
畜産関係	5,862	4,776	4,154	3,859	3,828	3,828	3,757	3,933	3,886	3,836	3,824
食品科学関係	14,920	13,965	13,310	12,506	12,402	12,590	12,686	12,632	12,712	12,623	12,741
農業土木関係	10,407	7,688	6,473	5,459	5,254	5,108	4,940	4,686	4,613	4,397	4,318
農業機械関係	2,073	1,599	1,416	1,242	1,235	1,185	1,126	1,060	1,036	1,041	1,045
造園関係	7,101	7,030	7,211	6,682	6,570	6,647	6,526	6,370	6,402	6,381	6,479
林業関係	6,882	5,240	4,326	3,369	3,247	3,130	3,141	3,045	3,045	2,895	2,864
生活科学関係	20,067	14,171	9,394	7,250	6,975	6,722	6,617	6,261	6,029	5,813	5,716
農業経済関係	—	10,032	7,116	5,251	4,903	4,930	4,910	5,138	4,964	4,661	4,333
生物工学関係	—	4,339	4,294	3,982	3,809	3,709	3,630	3,555	3,407	3,409	3,274
その他	22,611	6,988	8,310	8,738	8,524	8,339	8,547	8,132	8,272	8,313	8,730
計	135,562	116,805	101,952	90,139	88,357	87,636	87,696	86,660	85,624	83,921	83,534

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

高等学校 「農業科」(専門教科) 前回改訂のポイント

- 原則履修科目：「農業と環境」「課題研究」
- 科目構成：「水循環」や「環境緑化材料」を新設するなど現行の29科目から30科目で構成。
- 主な改善事項
 - ・ 農林業における生産・流通・経営の多様化や技術の高度化への対応
 - ・ 地球規模での環境保全の必要性の高まり等への対応
 - ・ 安全な食料の安定的供給への要請や職業人として求められる倫理観等の育成への対応

(1) 科目構成(別紙1)

(2) 各科目の改善事項

- 「作物」、「生物活用」などの科目において、実際的な取組により実践力を高める内容を充実。
- 「動物・微生物バイオテクノロジー」について、実験動物に関する内容を充実させ、「動物バイオテクノロジー」に名称変更し、微生物分野は「微生物基礎」と整理統合し「微生物利用」に名称変更。
- 「農業科学基礎」と「環境科学基礎」について、農業生物の育成と環境の保全・創造に関する基礎的な内容を一体的に学習できるよう、内容を整理統合し「農業と環境」に名称変更。
- 地球規模での水の循環と農業や生物とのかかわりについて、農業水利や水の有効利用と関連付けて学習する内容で構成する「水循環」を新設。
- 教科の目標の中に、農業に関する諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てることを明記。
- 「野菜」や「食品流通」などの科目において、農業生産工程管理、農薬のポジティブリスト制度、食品トレーサビリティシステム、危害分析重要管理点手法、食品安全マネジメントシステムなど、安全な食品の供給に必要な取組等に関する内容を充実。

教科「農業」の科目構成

現 行	従 来	備 考
農業と環境	農業科学基礎 環境科学基礎	整理統合
課題研究	課題研究	
総合実習	総合実習	
農業情報処理	農業情報処理	
作物	作物	
野菜	野菜	
果樹	果樹	
草花	草花	
畜産	畜産	
農業経営	農業経営	
農業機械	農業機械	
食品製造	食品製造	
食品化学	食品化学	
微生物利用	微生物基礎	分類整理
植物バイオテクノロジー	植物バイオテクノロジー	
動物バイオテクノロジー	動物・微生物バイオテクノロジー	
農業経済	農業経済	
食品流通	食品流通	
森林科学	森林科学	
森林経営	森林経営	
林産物利用	林産加工	名称変更
農業土木設計	農業土木設計	分類整理
農業土木施工	農業土木施工	
水循環		新設
造園計画	造園計画	
造園技術	造園技術	分類整理
環境緑化材料		新設
測量	測量	
生物活用	生物活用	
グリーンライフ	グリーンライフ	

農業科における系統表・構成表(現行)

教科の目標

農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、農業の社会的な意義と役割について理解させるとともに、農業に関する諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

育成する人材像: 地域農業をはじめ地域産業の健全で持続的な発展を担う職業人(将来の地域農業を担う人材、人間性豊かな職業人)

育成する力

- 農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術
- 農業の社会的な意義や役割を理解する力

- 農業の諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決する能力
- 持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力
- 農業に関する実践的な態度

4つの分野と科目構成

農業経営、食品産業分野

農業経営や食品産業の基礎的・基本的な知識と技術並びに実践的な態度

農業経営

農業機械

農業経済

食品流通

作物

野菜

果樹

草花

畜産

食品製造

食品化学

微生物利用

バイオテクノロジー分野

農業におけるバイオテクノロジーの基礎的・基本的な知識と技術を並びに実践的な態度

植物バイオテクノロジー

動物バイオテクノロジー

環境創造・素材生産分野

林産物の生産や経営及び国土の保全と創造についての基礎的・基本的な知識と技術並びに実践的な態度

林産物利用

農業土木設計

環境緑化材料

森林経営

農業土木施工

造園設計

森林科学

水循環

造園技術

測量

ヒューマンサービス分野

農業生物や地域資源を活用した対人サービスの基礎的・基本的な知識と技術並びに実践的な態度

生物活用

グリーンライフ

共通的な科目

農業と環境

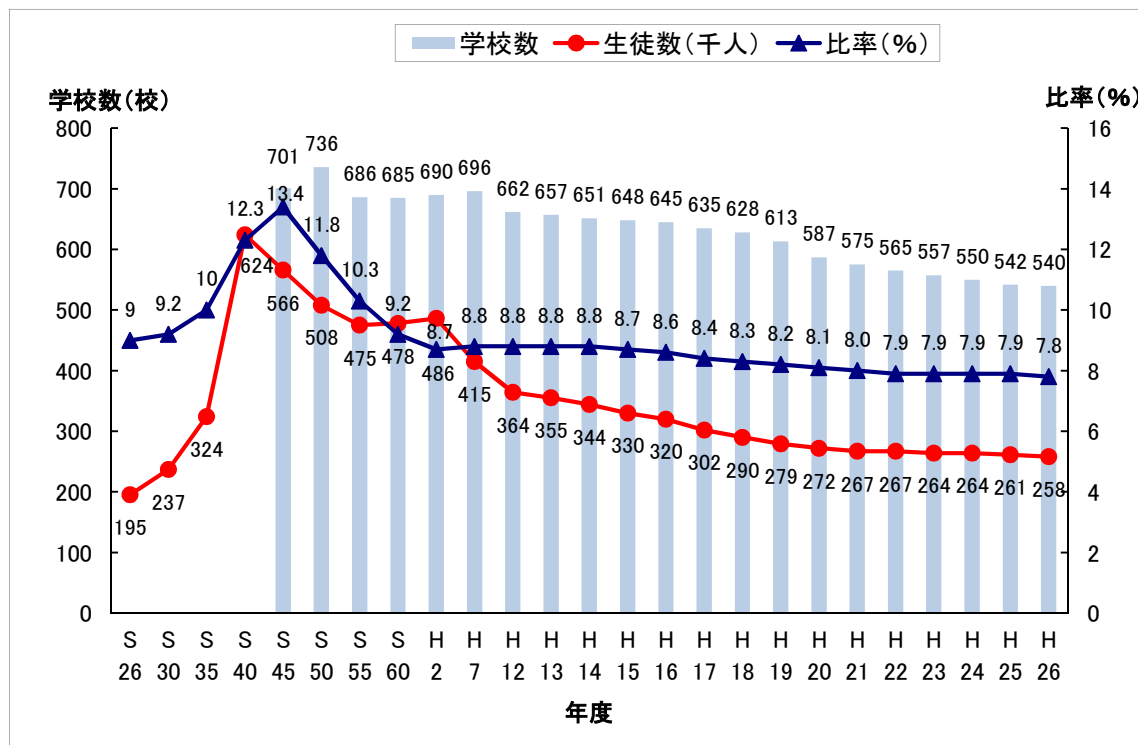
農業情報処理

総合実習

課題研究

工業高校の現状

1. 生徒数及び学校数の推移



年度	S26	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
生徒数(千人)	195	237	324	624	566	508	475	478	486	415	364	355	344	330	320	302	290	279	272	267	267	264	264	261	258
比率(%)	9.0	9.2	10.0	12.3	13.4	11.8	10.3	9.2	8.7	8.8	8.8	8.8	8.8	8.7	8.6	8.4	8.3	8.2	8.1	8.0	7.9	7.9	7.9	7.9	7.8
学校数					701	736	686	685	690	696	662	657	651	648	645	635	628	613	587	575	565	557	550	542	540

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

(注1) 「比率」は全高校生に占める割合。

(注2) 昭和40年以前の「学校数」については学校基本統計(学校基本調査報告書)において該当項目がないため記載していない。

2. 生徒の進路状況

①進路状況 (%)

	大学・短大等	専修学校等	就職	その他
元年3月卒	6.6	12.2	78.5	2.7
6年3月卒	7.4	18.0	70.5	4.0
11年3月卒	12.5	21.2	58.6	7.7
16年3月卒	17.1	23.7	54.0	5.2
19年3月卒	16.8	18.9	60.0	4.3
20年3月卒	17.2	16.6	62.6	3.6
21年3月卒	17.5	16.0	62.8	3.8
22年3月卒	18.8	19.8	57.0	4.4
23年3月卒	17.2	18.6	60.3	3.8
24年3月卒	15.6	18.2	62.6	3.7
25年3月卒	14.9	18.1	63.3	3.7
26年3月卒	14.5	17.6	64.7	3.2

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

②職業別就職状況 (%)

	専門的・ 技術的職 業従事者	事務 従事者	販 売 従事者	サービ ス職 業従 事者	保 安 職 業 従事者	農 林 業 従事者	漁 業 従事者	運輸・ 通 信 従事者	生産工程 従事者	輸送・機 械運転従 事者	建設・採 掘従事者	運搬・清 掃等従事 者	その他
元年3月卒	8.3	4.3	6.5	5.2	2.3	0.1	0.1	1.9	69.9	—	—	—	1.3
6年3月卒	9.6	3.8	6.1	5.9	2.5	0.1	0.0	2.2	68.0	—	—	—	1.7
11年3月卒	7.3	3.2	5.4	6.8	2.5	0.3	0.1	2.0	70.7	—	—	—	1.7
16年3月卒	6.0	2.6	5.7	7.4	3.1	0.3	0.1	2.3	70.5	—	—	—	2.0
19年3月卒	8.5	2.6	3.6	4.4	2.4	0.1	0.1	2.2	74.5	—	—	—	1.5
20年3月卒	9.2	2.4	3.0	3.5	2.3	0.2	0.1	2.5	75.3	—	—	—	1.5
21年3月卒	10.0	2.3	2.5	3.6	2.2	0.1	0.0	2.4	75.3	—	—	—	1.5
22年3月卒	11.0	2.1	3.1	4.9	1.9	0.2	0.1	2.2	72.5	—	—	—	1.9
23年3月卒	10.1	1.9	2.6	4.3	2.2	0.4	0.1	—	61.4	4.6	9.0	1.6	1.9
24年3月卒	9.4	1.6	2.6	4.2	2.0	0.3	0.1	—	63.1	4.1	8.9	1.7	2.1
25年3月卒	10.2	1.9	3.0	4.6	2.6	0.3	0.1	—	57.0	5.3	10.6	2.9	1.6
26年3月卒	10.7	2.1	2.9	4.2	3.0	0.2	0.1	—	55.6	4.9	11.6	3.2	1.4
(分母:52,621人)	5,653人	1,113人	1,526人	2,219人	1,604人	123人	37人	—	29,252人	2,603人	6,109人	1,665人	717人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

③産業別就職状況 (%)

	農業・林 業	漁業	鉱業・採石 業、砂利採 取業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・水 道業	運輸業・郵 便業・情報 通信業	卸売業・小 売業・飲食 店・宿泊業
元年3月卒	0.1	0.1	0.1	12.0	55.0	2.0	3.2	11.1
6年3月卒	0.1	0.1	0.2	19.4	45.1	3.3	4.1	9.9
11年3月卒	0.2	0.1	0.1	18.4	49.4	2.3	3.9	8.7
16年3月卒	0.3	0.1	0.1	14.3	53.0	1.6	4.8	9.3
19年3月卒	0.1	0.1	0.2	11.2	61.8	2.4	5.8	6.6
20年3月卒	0.2	0.1	0.2	11.1	61.4	4.1	5.9	5.8
21年3月卒	0.2	0.1	0.2	10.6	62.6	3.8	6.0	5.0
22年3月卒	0.3	0.1	0.2	16.0	54.0	4.4	5.7	6.0
23年3月卒	0.2	0.1	0.2	14.2	58.0	4.2	5.5	5.7
24年3月卒	0.3	0.1	0.1	14.3	58.8	3.2	5.2	5.8
25年3月卒	0.2	0.1	0.2	16.0	54.1	2.9	5.6	7.1
26年3月卒	0.2	0.1	0.2	16.9	52.3	3.0	5.9	6.9
(分母:52,621人)	114人	32人	105人	8,867人	27,507人	1,566人	3,107人	3,619人

	金融業・ 保険業	不動産 業・物品 賃貸業	教育・学 習支援 事業	医療・福 祉	各種サー ビス業	公務	その他
元年3月卒	0.1	0.1	—	—	12.2	3.2	0.7
6年3月卒	0.2	0.2	—	—	12.6	3.9	1.0
11年3月卒	0.1	0.2	—	—	12.7	2.7	1.1
16年3月卒	0.1	0.3	0.7	0.1	10.8	3.4	1.1
19年3月卒	0.1	0.2	0.0	0.5	7.5	2.8	0.6
20年3月卒	0.2	0.2	0.1	0.4	7.3	2.5	0.5
21年3月卒	0.1	0.2	0.1	0.6	7.5	2.4	0.8
22年3月卒	0.1	0.3	0.1	1.2	8.7	2.2	0.8
23年3月卒	0.1	0.3	0.1	1.1	7.2	2.3	0.9
24年3月卒	0.1	0.4	0.1	1.2	7.5	2.2	0.8
25年3月卒	0.1	0.5	0.1	1.2	8.1	2.9	0.8
26年3月卒	0.1	0.6	0.1	1.1	8.9	3.4	0.5
(分母:52,621人)	42人	320人	32人	603人	4,659人	1,769人	279人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

3. 小学科別学科数及び生徒数の推移

①学科数

小学科	学科数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
機械関係	802	540	481	442	422	413	408	400	390	389	392
電子機械関係	—	225	236	207	200	195	194	186	182	180	177
自動車関係	90	86	76	70	62	57	58	56	58	57	56
造船関係	6	4	3	1	2	2	1	1	2	2	2
電気関係	522	490	433	386	367	354	349	343	342	339	336
電子関係	188	158	139	117	110	103	99	93	93	89	90
情報技術関係	174	186	195	185	181	182	178	174	171	170	168
建築関係	270	257	252	231	222	214	199	191	185	184	181
設備工業関係	33	35	39	31	28	27	25	24	23	22	22
土木関係	206	200	194	169	169	163	158	149	145	143	145
地質工学関係	4	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
化学工業関係	201	178	152	120	114	110	109	104	104	102	101
化学工学関係	32	20	13	10	8	8	7	7	7	7	7
金属関係	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
材料技術関係	—	24	23	18	16	14	15	14	12	12	12
窯業関係	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
セラミック関係	—	10	9	8	8	8	7	7	7	7	7
色染化学関係	6	2	2	1	1	—	—	—	—	—	—
繊維関係	34	27	20	19	18	15	15	14	14	14	13
インテリア関係	66	57	53	43	42	37	34	33	32	32	33
デザイン関係	62	59	62	58	55	54	52	51	51	49	49
工業管理関係	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
印刷関係	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5
薬業関係	7	8	5	5	5	3	3	3	3	3	3
航空関係	2	2	3	4	4	3	2	2	2	2	3
計測関係	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	50	76	116	160	158	150	149	149	145	149	151
計	2,802	2,652	2,513	2,291	2,198	2,117	2,067	2,006	1,973	1,957	1,953

②生徒数

(人)

小学科	生徒数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
機械関係	148,203	90,164	74,098	64,848	63,771	63,381	63,073	62,352	62,427	62,508	62,364
電子機械関係	—	35,476	31,633	26,396	25,629	25,222	25,274	24,634	24,017	23,088	22,787
自動車関係	15,135	12,395	10,598	8,744	8,112	7,479	7,322	6,868	7,050	7,235	7,203
造船関係	566	446	197	82	119	145	66	68	95	128	168
電気関係	80,085	65,720	52,500	43,980	43,314	42,982	43,451	43,551	43,653	42,995	42,567
電子関係	29,100	21,944	17,873	13,834	13,247	12,524	12,346	12,006	12,180	11,449	10,993
情報技術関係	26,528	26,720	24,902	22,923	22,616	22,312	22,378	22,542	22,256	21,968	21,409
建築関係	33,140	30,775	26,464	22,077	21,064	20,376	19,511	19,335	18,962	18,563	18,489
設備工業関係	3,826	3,951	4,020	3,098	2,835	2,674	2,511	2,447	2,446	2,379	2,314
土木関係	25,959	24,262	20,685	16,940	16,357	15,771	15,423	14,817	14,928	14,720	14,846
地質工学関係	358	248	117	—	—	—	—	—	—	—	—
化学工業関係	25,347	20,634	15,956	12,812	12,494	12,325	12,171	11,692	11,703	11,423	11,337
化学工学関係	4,264	2,245	1,427	966	883	841	808	801	804	808	813
金属関係	2,736	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
材料技術関係	—	2,708	2,455	1,856	1,621	1,395	1,414	1,358	1,340	1,330	1,325
窯業関係	1,491	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
セラミック関係	—	1,308	1,202	975	1,001	987	974	939	885	868	831
色染化学関係	546	219	210	68	31	—	—	—	—	—	—
繊維関係	3,527	3,029	2,311	1,861	1,785	1,705	1,711	1,520	1,447	1,494	1,411
インテリア関係	6,824	5,880	4,932	4,112	3,854	3,598	3,540	3,568	3,601	3,584	3,584
デザイン関係	8,111	7,357	7,211	6,644	6,220	6,322	6,344	6,245	6,222	6,013	5,869
工業管理関係	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
印刷関係	678	690	695	631	612	560	558	567	557	546	548
薬業関係	688	468	459	394	368	346	345	340	342	341	343
航空関係	684	661	777	698	679	611	466	425	415	497	639
計測関係	629	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	7,255	11,088	16,760	24,888	25,356	25,733	26,981	27,781	28,227	28,622	28,161
計	425,680	368,388	317,482	278,827	271,968	267,289	266,667	263,856	263,557	260,559	258,001

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

高等学校 「工業科」(専門教科) 前回改訂のポイント

- 原則履修科目：「工業技術基礎」「課題研究」
- 科目構成：「環境工学基礎」を新設するなど現行の60科目から61科目で構成。
- 主な改善事項
 - ・工業技術の高度化、環境・エネルギー問題への対応
 - ・情報化とネットワーク化の進展への対応
 - ・技術者倫理の要請と伝統技術の継承の高まりなどへの対応

(1) 科目構成(別紙1)

(2) 各科目の改善事項

- 教科の目標に、環境に加えてエネルギーに配慮することを明記。
- 環境に関する基礎的な内容を学ぶ「環境工学基礎」を新設するとともに、「実習」や「建築計画」などでエネルギーについて配慮することを明記。
- 情報化とネットワーク化の進展に対応するため、「マルチメディア応用」をコンピュータシステムに関する学習の充実を図り「コンピュータシステム技術」に名称変更。
- 「情報技術基礎」、「プログラミング技術」、「ハードウェア技術」、「ソフトウェア技術」においても、学習内容を再編成。
- 教科の目標に工業の諸課題を倫理観をもって解決することを明記するとともに、「工業技術基礎」においてもものづくり技術者として求められる使命と責任について理解させることを明記。
- 「実習」、「建築法規」、「化学工学」等において、技術者としての倫理感を養うことや法令遵守について明記。
- 「実習」において日本の伝統技術・技能を扱うことを明記するとともに、「繊維製品」等において、日本の伝統的な技法について扱うことを明記。

工業科における系統表・構成表(現行)

教科の目標

工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における工業の意義や役割を理解させるとともに環境及びエネルギーに配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、協働的に、かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と態度を育てる。

【育成する人材像】 工業技術・技能の基礎・基本を習得しており、自ら手を動かすことに慣れていることから、実践を通して思考・判断・表現できる点で、ものづくりに対して優れている人材

【育成する力】

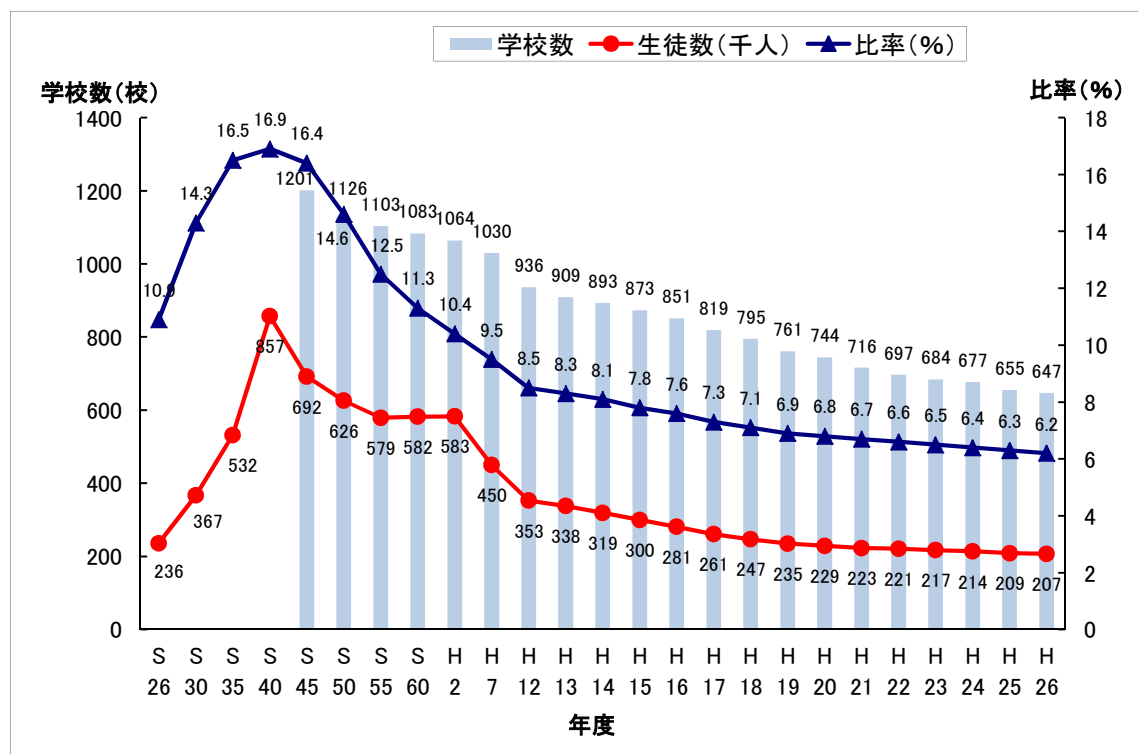
- 工業技術や社会の持続可能な発展を図るために必要となる知識や技術・技能
- 中学校までに身に付けた科学的な見方や考え方、ものづくりの技能を基盤として、工業各分野の知識や技術・技能をものづくりをおこなう中で、産業や社会とのつながりも意識して、答えが一つに定まらない課題に対して、自ら解を見出していこうとする思考力・判断力・表現力等の能力
- 地域で課題となっていることに対して、主体性を持って、多様な人々と協働しつつ、「どのようなものをいかにつくるか」について学ぶ態度
- 工業製品を高校生の視点や好奇心で見たとときに、改善する点を見だし提案することができる態度
- 入学した時点で期待できる特定の成長過程があったとしても、学校や授業の状況などから、工業の学びを通して、生徒の成長に応じてさらに変化をうながすことができることから、自らが変革を牽引できるスペシャリストの育成

工業の各分野と科目構成

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">原則履修科目：「工業技術基礎」</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">各学科における共通の内容で、かつ基礎的・基本的な内容で構成された科目… 「実習」「製図」「工業数理基礎」「情報技術基礎」</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">各学科の特色や生徒の進路希望により選択して履修する科目… 「材料技術基礎」「生産システム技術」「工業技術英語」「工業管理技術」「環境工学基礎」</p>	<p>機械に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、製品の設計・加工・製造等に関する機械技術の諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・機械に関する学科の科目：「機械工作」「機械設計」「原動機」 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">原則履修科目：「課題研究」</p>
			<p>電子機械に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子機械技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、諸要素を組み合わせた制御に関する電子機械技術の諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・電子機械に関する学科の科目：「電子機械」「電子機械応用」 	
			<p>自動車に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、自動車に関する諸情勢・法規や規格・環境や資源エネルギー・安全・車体構造等の諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度を育てる。 ・自動車に関する学科の科目：「自動車工学」「自動車整備」 	
			<p>電気に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、電気現象・電氣的諸量の相互関係、各種電気機器の原理・構造・特性・取扱い、電力の供給・運用等の諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・電気に関する学科の科目：「電気基礎」「電気機器」「電力技術」「電子技術」 	
			<p>電子に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、電子回路用素子の特性・機能、構成・取扱い、計測制御システム、情報通信システム等の諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・電子に関する学科の科目：「電子回路」「電子計測制御」「通信技術」「電子情報技術」 	
			<p>情報技術に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、コンピュータにおける技術革新やその活用等に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・情報技術に関する学科の科目：「プログラミング技術」「ハードウェア技術」「ソフトウェア技術」「コンピュータシステム技術」 	
			<p>建築に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、建築物を合理的に、かつ倫理観をもって設計し、施工することに関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・建築に関する学科の科目：「建築構造」「建築計画」「建築構造設計」「建築施工」「建築法規」 	
			<p>設備工業に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備工業技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、各種建築物の諸条件に適合した空調調和・給排水衛生設備などの設計、施工、保守管理に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・設備工業に関する学科の科目：「設備計画」「空調調和設備」「衛生・防災設備」 	
			<p>土木に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、社会基盤の整備を合理的に、かつ倫理観をもって設計し、施工することに関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・土木に関する学科の科目：「測量」「土木基礎力学」「土木構造設計」「土木施工」「社会基盤工学」 	
			<p>化学工業に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学工業技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、物質の性質や変化、プラントの装置、計測・制御及び環境保全等に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・化学工業に関する学科の科目：「工業化学」「化学工学」「地球環境化学」 	
			<p>材料技術に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、各種工業材料の製造、組織、性質、保全、用途等に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・材料技術に関する学科の科目：「材料製造技術」「工業材料」「材料加工」 	
			<p>セラミックに関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セラミック技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、セラミックの原料、組織、物性、製造、用途等に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・セラミックに関する学科の科目：「セラミック化学」「セラミック材料」「セラミック工業」 	
			<p>繊維に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繊維技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、繊維製品の製造、染色技術、染織デザインの製品化等に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・繊維に関する学科の科目：「繊維製品」「繊維・染織技術」「染織デザイン」 	
			<p>インテリアに関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インテリア技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、インテリアの計画・設計・施工・管理及び空間を構成するインテリアエレメントの企画・設計・生産技術に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・インテリアに関する学科の科目：「インテリア計画」「インテリア装備」「インテリアエレメント生産」 	
			<p>デザインに関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、プロダクトデザインの意義、要素、用途に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度 ・デザインに関する学科の科目：「デザイン技術」「デザイン材料」「デザイン史」 	

商業高校の現状

1. 生徒数及び学校数の推移



年度	S26	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
生徒数(千人)	236	367	532	857	692	626	579	582	583	450	353	338	319	300	281	261	247	235	229	223	221	217	214	209	207
比率(%)	10.9	14.3	16.5	16.9	16.4	14.6	12.5	11.3	10.4	9.5	8.5	8.3	8.1	7.8	7.6	7.3	7.1	6.9	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.3	6.2
学校数					1,201	1,126	1,103	1,083	1,064	1,030	936	909	893	873	851	819	795	761	744	716	697	684	677	655	647

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

(注1) 「比率」は全高校生に占める割合。

(注2) 昭和40年以前の「学校数」については学校基本統計(学校基本調査報告書)において該当項目がないため記載していない。

2. 生徒の進路状況

①進路状況 (%)

	大学・短大等	専修学校等	就職	その他
元年3月卒	8.4	14.1	74.0	3.5
6年3月卒	12.3	21.9	59.7	6.2
11年3月卒	18.3	24.0	46.2	11.5
16年3月卒	21.5	28.0	39.8	10.7
19年3月卒	24.1	26.0	43.4	6.5
20年3月卒	25.9	24.5	43.9	5.7
21年3月卒	27.2	24.3	42.0	6.4
22年3月卒	28.6	27.8	36.8	6.9
23年3月卒	27.1	27.7	38.8	6.4
24年3月卒	25.9	28.5	39.9	5.7
25年3月卒	25.7	28.7	40.4	5.2
26年3月卒	25.5	28.0	41.9	4.6

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

②職業別就職状況 (%)

	専門的・ 技術的職業 従事者	事務 従事者	販売 従事者	サービス 職業 従事者	保安 職業 従事者	農林業 従事者	漁業 従事者	運輸・ 通信 従事者	生産工程 従事者	輸送・機 械運転従 事者	建設・採 掘従事者	運搬・清 掃等従事 者	その他
元年3月卒	1.2	51.6	19.5	9.8	1.0	0.1	0.0	1.0	14.9	—	—	—	0.9
6年3月卒	1.8	46.8	18.3	13.2	1.5	0.1	0.1	1.5	15.6	—	—	—	1.0
11年3月卒	1.9	35.7	17.9	17.0	1.7	0.2	0.1	1.7	22.5	—	—	—	1.2
16年3月卒	2.7	32.9	16.8	18.3	2.4	0.3	0.1	1.7	23.4	—	—	—	1.5
19年3月卒	3.2	35.5	15.0	13.5	2.5	0.2	0.1	1.8	27.0	—	—	—	1.2
20年3月卒	3.2	35.7	14.9	12.7	2.5	0.1	0.1	1.7	27.9	—	—	—	1.2
21年3月卒	3.9	35.1	13.5	13.3	2.4	0.2	0.1	2.1	28.2	—	—	—	1.3
22年3月卒	4.4	32.0	15.7	17.4	2.3	0.3	0.1	1.9	24.7	—	—	—	1.2
23年3月卒	4.0	31.2	13.7	16.6	2.6	0.3	0.1	—	26.6	1.7	1.2	0.9	1.1
24年3月卒	3.7	30.5	14.4	16.5	2.5	0.2	0.2	—	26.9	1.8	1.3	0.9	1.0
25年3月卒	2.2	29.4	15.8	19.1	2.9	0.3	0.3	—	23.7	1.9	1.4	1.8	1.4
26年3月卒	2.7	29.9	14.7	18.9	3.1	0.2	0.1	—	23.4	1.8	1.6	2.1	1.3
(分母:28,228人)	760人	8,437人	4,162人	5,332人	888人	68人	24人	—	6,607人	515人	462人	603人	370人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

③産業別就職状況 (%)

	農業・林 業	漁業	鉱業、採石 業、砂利採 取業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・水 道業	運輸業・郵 便業・情報 通信業	卸売業・小 売業・飲食 店・宿泊業
元年3月卒	0.1	0.1	0.0	2.5	29.9	0.6	4.3	33.5
6年3月卒	0.1	0.1	0.0	4.3	26.2	1.0	4.8	30.2
11年3月卒	0.2	0.1	0.0	4.2	29.0	0.8	4.2	27.4
16年3月卒	0.3	0.1	0.1	3.4	29.0	0.7	5.5	29.4
19年3月卒	0.2	0.1	0.0	3.1	35.1	0.8	7.0	27.0
20年3月卒	0.3	0.1	0.0	2.4	36.4	1.3	7.4	26.5
21年3月卒	0.2	0.1	0.1	2.7	36.3	1.3	7.6	24.9
22年3月卒	0.4	0.1	0.1	3.3	28.3	1.7	6.8	27.8
23年3月卒	0.4	0.1	0.1	3.4	32.9	1.5	6.5	25.2
24年3月卒	0.4	0.1	0.1	3.4	33.6	1.3	6.7	25.5
25年3月卒	0.4	0.1	0.1	3.2	30.3	1.1	7.3	28.1
26年3月卒	0.3	0.1	0.1	3.9	30.3	1.0	7.6	27.2
(分母:28,228人)	81人	36人	41人	1,112人	8,565人	293人	2,141人	7,679人

	金融業・ 保険業	不動産 業・物品 賃貸業	教育・学 習支援 事業	医療・福 祉	各種サー ビス業	公務	その他
元年3月卒	8.1	0.3	—	—	17.9	2.1	0.6
6年3月卒	6.0	0.2	—	—	23.3	2.8	0.8
11年3月卒	4.0	0.3	—	—	26.5	2.1	1.0
16年3月卒	2.8	0.3	0.2	5.4	18.6	3.1	0.8
19年3月卒	3.8	0.3	0.3	4.8	13.9	3.1	0.6
20年3月卒	4.0	0.5	0.3	4.5	12.8	2.8	0.7
21年3月卒	3.8	0.4	0.3	5.6	13.3	2.7	0.7
22年3月卒	3.4	0.7	0.4	8.7	14.5	3.0	0.8
23年3月卒	3.1	0.7	0.4	8.7	13.3	3.2	0.6
24年3月卒	2.9	0.8	0.4	8.5	12.5	3.0	0.7
25年3月卒	2.9	1.0	0.3	8.5	12.6	3.3	0.6
26年3月卒	3.1	0.9	0.4	7.8	12.8	3.8	0.6
(分母:28,228人)	867人	268人	105人	2,204人	3,603人	1,066人	167人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

3. 小学科別学科数及び生徒数の推移

①学科数

小学科	学科数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
商業関係	1,010	826	708	603	590	562	555	541	535	530	521
流通経済関係	—	55	52	45	45	45	45	41	39	38	38
国際経済関係	—	105	115	94	90	84	77	75	72	68	65
会計関係	—	98	92	78	71	71	69	66	67	66	62
情報処理関係	441	475	472	415	404	380	365	349	342	331	317
営業関係	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事務・経理関係	137	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	94	23	20	17	17	17	16	17	17	17	18
計	1,709	1,582	1,459	1,252	1,217	1,159	1,127	1,089	1,072	1,050	1,021

②生徒数

(人)

小学科	生徒数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
商業関係	353,713	234,225	163,659	133,519	130,442	127,056	128,965	126,667	126,534	125,977	126,155
流通経済関係	—	10,058	9,565	8,471	8,661	8,589	8,142	7,704	7,389	7,304	7,527
国際経済関係	—	16,351	15,158	12,648	12,252	11,816	11,332	11,038	10,656	9,252	8,282
会計関係	—	19,088	14,661	12,293	11,706	11,360	10,870	11,004	10,926	10,783	10,421
情報処理関係	78,876	81,819	75,467	65,200	62,972	61,522	59,175	57,391	55,239	52,564	50,666
営業関係	3,517	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事務・経理関係	25,412	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	12,821	2,636	2,065	2,728	2,756	2,764	2,919	3,368	3,535	3,419	3,554
計	474,339	364,177	280,575	234,859	228,789	223,107	221,403	217,172	214,279	209,299	206,605

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

高等学校 「商業科」(専門教科) 前回改訂のポイント

- 原則履修科目：「ビジネス基礎」「課題研究」
- 科目構成：「商品開発」や「ビジネス情報管理」を新設するなど現行の17科目から20科目で構成。
- 主な改善事項
 - ・経済のサービス化・グローバル化、ICTの急速な進展等への対応
 - ・ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行う実践力や地域産業の振興など起業家精神を身に付けた人材の育成への対応
 - ・職業人としての倫理観や遵法精神などの育成への対応

(1) 科目構成(別紙1)

(2) 各科目の改善事項

- 「文書デザイン」について、情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報を学ぶ内容に再構成し、「電子商取引」に名称変更するとともに、情報通信ネットワークの構築と運用管理及びビジネス情報システムの開発を学ぶ「ビジネス情報管理」を新設。
- 経済の仕組みや概念を学ぶ「ビジネス経済」を新設するとともに、「国際ビジネス」について、経済社会の動向を学ぶ内容に見直しを図り、「ビジネス経済応用」に名称変更。
- 商品を企画・開発し、流通活動を行う能力と態度を育てる「商品開発」を新設するとともに、「ビジネス経済応用」において起業の手續を学ぶ項目及び新たなビジネスや地域産業の振興方策を考案させる内容を充実。
- 会計情報を経営に活用する能力を育成するため、「会計」を「財務会計Ⅰ」、「会計実務」を「財務会計Ⅱ」に変更し、内容を充実するとともに、「管理会計」を新設。
- 教科の目標に、ビジネスの諸活動を倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る能力と態度を育てることを明記。
- 「ビジネス基礎」において、卸売・小売業等に従事する者に求められる職業倫理、「経済活動と法」において法令を遵守して企業活動を行うことの重要性など、職業人としての倫理観や遵法精神を育てる内容を充実。

教科「商業」の科目構成

現 行	従 来	備 考
ビジネス基礎	ビジネス基礎	
課題研究	課題研究	
総合実践	総合実践	
ビジネス実務	商品と流通	整理統合 分類整理 新設
マーケティング		
商品開発		
広告と販売促進	商業技術	分類整理
	マーケティング	
ビジネス経済	英語実務	新設
ビジネス経済応用	経済活動と法	名称変更
経済活動と法		
簿記	簿記	
財務会計Ⅰ	会計	名称変更
財務会計Ⅱ	原価計算	名称変更
原価計算		
管理会計	会計実務	新設
情報処理	情報処理	
ビジネス情報	ビジネス情報	
電子商取引	文書デザイン	名称変更
プログラミング	プログラミング	
ビジネス情報管理		新設

商業科における系統表・構成表（現行）

教科の目標

商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

育成する人材像

地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人

【ビジネスの理解力と実践力】

知識や技術を基に、ビジネスを理解し、実践する力（顧客満足実現能力、ビジネス探究能力、会計情報提供・活用能力、情報処理・活用能力）

【ビジネスに必要な豊かな人間性】

倫理観、遵法精神、規範意識、責任感、協調性など

【総合的科目】

課題研究（原則履修科目）

総合実践

【総合的科目】

ビジネス実務

【各分野の科目】

マーケティング分野 [顧客満足実現能力]

商品
開発

広告と
販売促進

マーケティング

ビジネス経済分野 [ビジネス探究能力]

経済活動と法

ビジネス
経済

ビジネス
経済応用

会計分野 [会計情報提供・活用能力]

財務会計Ⅱ

財務会計Ⅰ

簿記

管理会計

原価
計算

ビジネス情報分野 [情報処理・活用能力]

ビジネス情報管理

ビジネス
情報

プログラ
ミング

電子
商取引

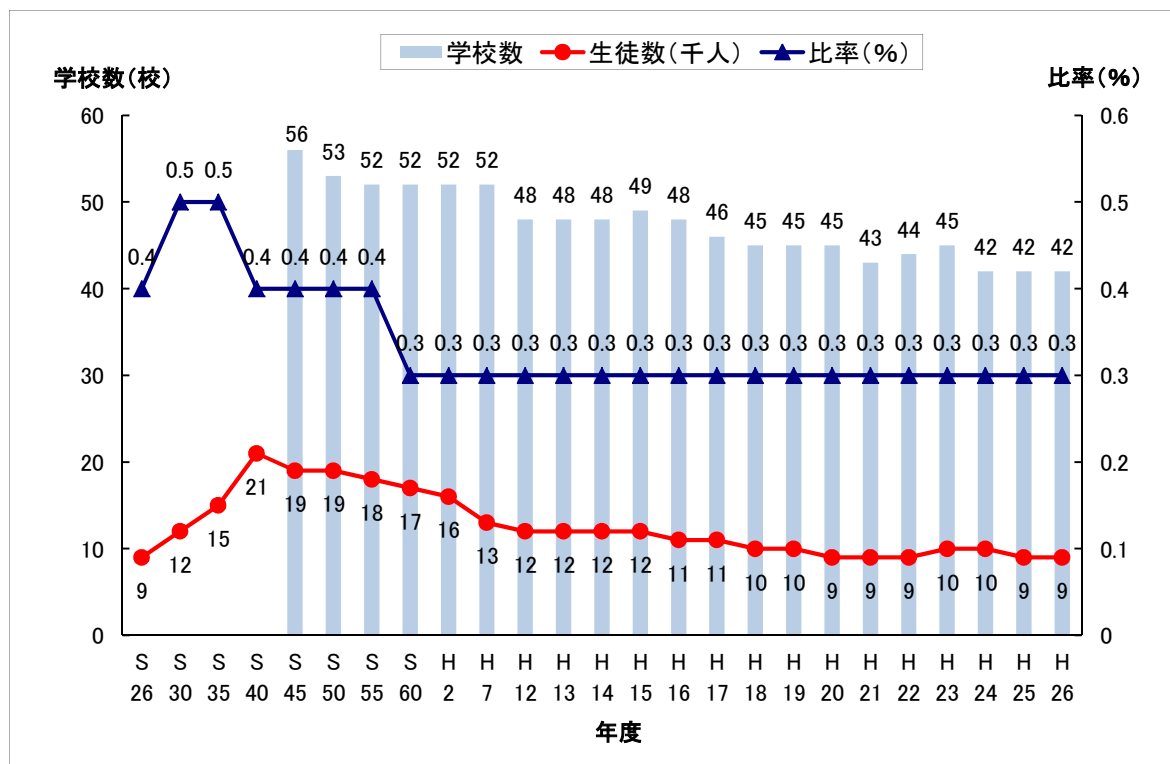
情報処理

【基礎的科目】

ビジネス基礎（原則履修科目）

水産高校の現状

1. 生徒数及び学校数の推移



年度	S26	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
生徒数(千人)	9	12	15	21	19	19	18	17	16	13	12	12	12	12	11	11	10	10	10	9	9	9	10	10	9	9
比率(%)	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
学校数					56	53	52	52	52	48	48	48	49	48	46	45	45	45	43	44	45	43	44	45	42	42

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

(注1) 「比率」は全高校生に占める割合。

(注2) 昭和40年以前の「学校数」については学校基本統計(学校基本調査報告書)において該当項目がないため記載していない。

2. 生徒の進路状況

①進路状況 (%)

	大学・短大等	専修学校等	就職	その他
元年3月卒	7.4	8.4	82.2	1.9
6年3月卒	8.8	11.3	76.5	3.3
11年3月卒	12.0	16.0	64.6	7.4
16年3月卒	14.0	18.7	57.5	9.8
19年3月卒	14.4	16.5	63.6	5.5
20年3月卒	14.4	16.6	65.5	3.5
21年3月卒	15.0	16.3	63.9	4.8
22年3月卒	17.5	17.8	58.6	6.2
23年3月卒	18.6	16.3	58.9	6.1
24年3月卒	16.6	16.9	61.4	5.1
25年3月卒	15.8	17.5	62.7	4.0
26年3月卒	14.9	17.5	63.8	3.9

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

②職業別就職状況 (%)

	専門的・技術的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	保安職業従事者	農林業従事者	漁業従事者	運輸・通信従事者	生産工程従事者	輸送・機械運転従事者	建設・採掘従事者	運搬・清掃等従事者	その他
元年3月卒	1.3	4.7	16.7	8.8	3.8	0.1	11.1	4.8	46.8	—	—	—	1.8
6年3月卒	3.0	2.8	14.3	11.4	2.1	0.3	6.0	9.5	49.0	—	—	—	1.5
11年3月卒	2.3	2.6	17.0	12.9	2.1	0.3	9.7	4.0	46.2	—	—	—	2.9
16年3月卒	1.8	2.3	15.3	18.3	4.5	0.8	9.3	3.1	40.5	—	—	—	4.1
19年3月卒	2.8	2.1	9.4	14.6	5.5	0.6	5.5	4.5	53.0	—	—	—	2.1
20年3月卒	3.3	2.8	10.9	12.5	4.7	0.2	6.4	5.3	52.9	—	—	—	1.0
21年3月卒	5.1	3.1	9.3	12.4	4.5	0.5	5.9	6.9	51.7	—	—	—	0.6
22年3月卒	4.0	3.2	8.5	16.3	2.8	1.3	8.6	6.4	47.0	—	—	—	1.8
23年3月卒	4.6	2.2	9.2	16.4	3.4	0.6	9.3	—	38.4	5.2	6.0	2.1	2.4
24年3月卒	4.4	2.1	9.4	18.2	3.3	0.6	7.0	—	36.8	6.0	7.0	3.5	1.6
25年3月卒	2.2	2.7	10.6	18.9	4.5	1.1	10.2	—	31.4	6.1	7.8	3.2	1.1
26年3月卒	2.7	2.2	8.9	18.7	4.7	0.9	8.9	—	33.1	7.0	8.3	4.2	0.4
(分母:1,896人)	52人	41人	168人	355人	89人	17人	169人	—	627人	132人	158人	80人	8人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

③産業別就職状況 (%)

	農業・林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸業・郵便業・情報通信業	卸売業・小売業・飲食店・宿泊業
元年3月卒	0.1	11.2	0.0	4.1	40.8	0.8	6.6	20.6
6年3月卒	0.3	5.7	0.0	9.4	35.9	1.7	10.0	18.1
11年3月卒	0.3	9.5	0.0	8.5	33.7	1.2	5.7	21.6
16年3月卒	0.6	9.2	0.0	6.3	30.9	1.0	4.9	24.1
19年3月卒	0.1	5.8	0.0	6.2	41.2	0.8	9.2	17.0
20年3月卒	0.4	6.3	0.0	5.2	40.2	2.0	9.4	19.9
21年3月卒	1.0	5.0	0.4	5.4	42.1	1.2	10.6	18.4
22年3月卒	0.8	10.3	0.1	8.5	33.1	1.7	8.8	17.2
23年3月卒	0.7	9.5	0.3	8.9	35.1	0.4	7.6	18.3
24年3月卒	0.7	7.9	0.1	9.4	33.7	0.5	8.7	20.1
25年3月卒	0.4	10.2	0.1	10.4	28.9	0.9	8.8	21.1
26年3月卒	0.7	9.0	0.2	10.2	28.3	0.4	11.3	18.7
(分母:1,896人)	14人	171人	4人	194人	537人	7人	215人	355人

	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	教育・学習支援事業	医療・福祉	各種サービス業	公務	その他
元年3月卒	0.5	0.0	—	—	10.4	4.1	0.8
6年3月卒	0.3	0.0	—	—	12.5	4.0	1.8
11年3月卒	0.2	0.0	—	—	14.7	2.1	2.5
16年3月卒	0.2	0.0	0.3	1.6	13.8	3.3	3.6
19年3月卒	0.3	0.0	0.1	2.5	9.4	5.5	1.4
20年3月卒	0.1	0.0	0.0	2.2	8.4	4.9	1.0
21年3月卒	0.0	0.1	0.7	1.7	9.4	3.6	0.5
22年3月卒	0.2	0.1	0.5	4.4	10.3	2.8	1.2
23年3月卒	0.2	0.1	0.1	5.4	8.9	3.2	1.4
24年3月卒	0.1	0.1	0.3	5.8	8.9	2.9	0.7
25年3月卒	0.1	0.3	0.3	4.7	9.6	3.9	0.3
26年3月卒	0.1	0.4	0.4	5.7	10.4	3.6	0.4
(分母:1,896人)	2人	7人	8人	108人	198人	69人	7人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

3. 小学科別学科数及び生徒数の推移

①学科数

小学科	学科数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
海洋漁業関係	53	43	41	42	40	39	40	41	39	38	38
水産食品関係	48	34	29	24	23	21	19	19	17	17	17
栽培漁業関係	17	11	11	11	9	8	8	8	8	8	8
水産工学関係	21	12	8	6	5	5	4	4	4	4	5
情報通信関係	23	19	13	8	6	6	5	5	5	5	5
その他	20	27	33	28	23	22	21	21	21	20	20
計	182	146	135	119	106	101	97	98	94	92	93

②生徒数

(人)

小学科	生徒数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
海洋漁業関係	3,497	3,684	3,726	3,520	3,570	3,683	3,847	4,083	4,116	4,050	4,098
水産食品関係	3,826	2,947	2,585	1,943	1,800	1,746	1,682	1,589	1,539	1,430	1,362
栽培漁業関係	1,186	916	900	964	995	988	985	999	1,019	1,045	1,013
水産工学関係	1,472	1,007	714	573	504	447	410	411	422	413	497
情報通信関係	1,889	1,583	981	676	593	580	543	535	530	529	539
その他	1,657	2,164	2,381	2,145	1,996	1,961	1,991	1,939	1,986	1,956	1,889
計	13,527	12,301	11,287	9,821	9,458	9,405	9,458	9,556	9,612	9,423	9,398

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

高等学校 「水産科」(専門教科) 前回改訂のポイント

- 原則履修科目:「水産海洋基礎」「課題研究」
- 科目構成:「水産海洋科学」や「マリンスポーツ」を新設するなど現行の20科目から22科目で構成。
- 主な改善事項
 - ・水産物の世界的需要の拡大、水産物の資源管理や安定供給の必要性の増大、流通経路の変化、消費者ニーズの変化など水産業を取り巻く状況の変化への対応
 - ・海洋の環境保全や多面的活用など海洋に関する国際的関心の高まりなどへの対応
 - ・職業人として求められる倫理観の育成などへの対応

(1) 科目構成(別紙1)

(2) 各科目の改善事項

- 水産増養殖に関する学習内容の充実を図るため、資源管理や安全管理、未利用資源の利用に関する内容を加えるなど、「栽培漁業」を「資源増殖」に、「水産生物」を「海洋生物」にそれぞれ名称変更。
- 「漁業」、「資源増殖」及び「食品製造」について、水産業を取り巻く状況に対応すべく経営に関する内容を充実。
- 「水産基礎」について、海洋の基礎的な学習を取り入れるなど内容の見直しを図り、科目名を「水産海洋基礎」に名称変更。さらに広く深く水産・海洋に関する学習を行い科学的な見方や考え方を育成するよう「水産海洋科学」を新設。
- 海洋関連分野における新たなニーズに対応するため、海洋などにおける諸活動を円滑かつ安全に行うことができる人材の育成をねらいとした「マリンスポーツ」を新設。
- 教科の目標に、水産及び海洋関連の諸課題を倫理観をもって解決し、持続的かつ安定的に産業と社会の発展を図る能力と態度を育てることを明記。
- 「水産海洋基礎」をはじめ水産物の生産・流通・加工に関する各科目において、食の安全に関する内容、生産に関する科目において、資源管理に関する内容、「海洋環境」等において、海洋の環境保全等に関する内容を充実。

教科「水産」の科目構成

現 行	従 来	備 考
水産海洋基礎	水産基礎	名称変更
課題研究	課題研究	
総合実習	総合実習	
海洋情報技術	水産情報技術	名称変更
水産海洋科学		新設
漁業	漁業	
航海・計器	航海・計器	
船舶運用	漁船運用	名称変更
船用機関	船用機関	
機械設計工作	機械設計工作	
電気理論	電気工学	整理統合
	電気通信理論	
移動体通通信工学	通信工学	整理分類
海洋通信技術		
資源増殖	栽培漁業	名称変更
海洋生物	水産生物	名称変更
海洋環境	海洋環境	名称変更
小型船舶	操船	名称変更
食品製造	水産食品製造	名称変更
食品管理	水産食品管理	名称変更
水産流通	水産流通	
ダイビング	ダイビング	
マリンスポーツ		新設

水産科における系統表・構成表(現行)

教科の目標

水産や海洋の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、水産業及び海洋関連産業の意義や役割を理解させるとともに、水産や海洋に関する諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、持続的かつ安定的な水産業及び海洋関連産業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

育成する人材像：実践的な学習を通して知識・技術を習得し、水産業や海洋関連産業の健全な発展を担う職業人

育成する力

- 水産や海洋の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術
- 水産業及び海洋関連産業の意義や役割を理解する力
- 水産業や海洋関連産業に関する実践的な態度

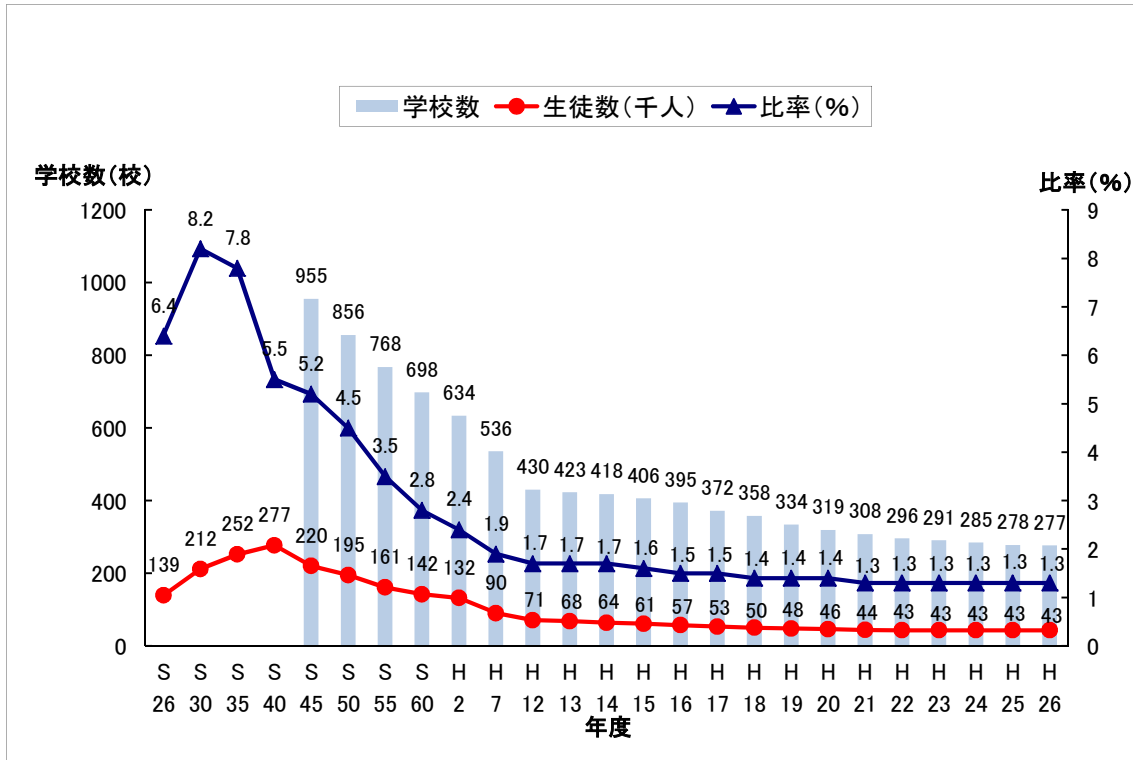
- 水産や海洋に関する諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決する能力
- 持続的かつ安定的な水産業及び海洋関連産業と社会の発展を図る創造的な能力

5つの分野と科目構成

原則履修科目	水産海洋基礎		課題研究		
海洋漁業分野 漁業生産や船舶運航等に関する知識や技術を習得させ、実践的な態度を身に付けさせる	海洋工学分野 船用機関や海洋工学等に関する知識や技術を習得させ、実践的な態度を身に付けさせる	情報通信分野 無線通信士や通信機器に関する知識や技術を習得させ、実践的な態度を身に付けさせる	資源増殖分野 水産増養殖や海洋生物に関する知識や技術を習得させ、実践的な態度を身に付けさせる	水産食品分野 水産食品の製造、管理及び流通に関する知識や技術を習得させ、実践的な態度を身に付けさせる	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">漁業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">航海・計器</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">船舶運用</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小型船舶</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">水産流通</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">船用機関</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機械設計 工作</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">電気理論</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小型船舶</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海洋環境</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">電気理論</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動体通 信工学</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海洋通信 技術</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海洋情報 技術</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資源増殖</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海洋生物</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海洋環境</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小型船舶</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">水産流通</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食品製造</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食品管理</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">水産流通</div>
共通的な科目	総合実習	海洋情報技術	水産海洋科学	ダイビング	マリンスポーツ

家庭科高校の現状

1. 生徒数及び学校数の推移



年度	S26	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
生徒数(千人)	139	212	252	277	220	195	161	142	132	90	71	68	64	61	57	53	50	48	46	44	43	43	43	43	43
比率(%)	6.4	8.2	7.8	5.5	5.2	4.5	3.5	2.8	2.4	1.9	1.7	1.7	1.7	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
学校数					955	856	768	698	634	536	430	423	418	406	395	372	358	334	319	308	296	291	285	278	277

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

(注1) 「比率」は全高校生に占める割合。

(注2) 昭和40年以前の「学校数」については学校基本統計(学校基本調査報告書)において該当項目がないため記載していない。

2. 生徒の進路状況

①進路状況 (%)

	大学・短大等	専修学校等	就職	その他
元年3月卒	15.1	18.1	60.0	6.8
6年3月卒	16.3	24.6	50.3	8.8
11年3月卒	20.0	25.7	39.7	14.5
16年3月卒	20.2	29.3	39.5	10.9
19年3月卒	22.5	28.7	39.4	9.4
20年3月卒	23.1	27.5	41.0	8.4
21年3月卒	25.0	27.4	38.5	9.2
22年3月卒	25.8	30.4	34.6	9.2
23年3月卒	25.7	30.6	35.1	8.6
24年3月卒	25.2	32.4	34.9	7.5
25年3月卒	24.8	31.9	36.7	6.7
26年3月卒	24.3	31.9	38.0	5.9

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

②職業別就職状況 (%)

	専門的・技術的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	保安職業従事者	農林業従事者	漁業従事者	運輸・通信従事者	生産工程従事者	輸送・機械運転従事者	建設・採掘従事者	運搬・清掃等従事者	その他
元年3月卒	2.7	16.3	23.5	23.1	0.5	0.1	0.0	1.0	31.8	—	—	—	1.1
6年3月卒	4.5	14.8	21.0	30.5	0.3	0.0	0.0	1.3	26.7	—	—	—	0.8
11年3月卒	4.4	8.7	15.5	39.4	0.4	0.1	0.0	0.9	29.7	—	—	—	0.9
16年3月卒	7.7	6.8	14.4	44.4	0.8	0.2	0.1	1.2	23.7	—	—	—	0.8
19年3月卒	5.2	6.9	15.9	41.6	1.3	0.1	0.0	0.9	27.0	—	—	—	1.1
20年3月卒	6.4	6.6	14.1	40.8	1.2	0.2	0.0	0.8	28.6	—	—	—	1.3
21年3月卒	6.2	6.8	12.9	42.9	1.4	0.3	0.0	0.8	27.3	—	—	—	1.4
22年3月卒	8.7	5.9	10.3	50.4	0.9	0.2	0.0	0.8	22.0	—	—	—	0.7
23年3月卒	5.8	5.7	10.3	51.1	1.1	0.3	0.1	—	22.6	0.6	0.5	0.4	1.5
24年3月卒	6.5	5.6	10.6	51.2	0.9	0.2	0.0	—	22.2	0.8	0.5	0.5	1.0
25年3月卒	5.3	5.2	12.3	52.4	1.2	0.2	0.04	—	20.1	0.4	0.6	0.8	1.4
26年3月卒	4.4	5.0	11.7	53.9	1.1	0.6	0.1	—	20.6	0.4	0.7	0.7	1.0
(分母:5,100人)	226人	254人	595人	2,750人	54人	30人	4人	—	1,051人	18人	34人	35人	49人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

③産業別就職状況 (%)

	農業・林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸業・郵便業・情報通信業	卸売業・小売業・飲食店・宿泊業
元年3月卒	0.1	0.0	0.0	0.9	38.1	0.4	2.8	30.0
6年3月卒	0.1	0.0	0.0	1.2	31.5	0.4	3.2	27.4
11年3月卒	0.2	0.0	0.0	1.0	31.5	0.2	2.5	24.7
16年3月卒	0.2	0.1	0.0	1.4	24.3	0.1	2.5	35.2
19年3月卒	0.2	0.0	0.0	1.1	27.7	0.1	2.3	40.9
20年3月卒	0.2	0.1	0.0	1.0	28.9	0.4	2.2	39.6
21年3月卒	0.2	0.0	0.0	1.3	27.4	0.2	1.8	39.6
22年3月卒	0.2	0.0	0.0	1.2	22.1	0.1	2.0	40.1
23年3月卒	0.4	0.1	0.0	1.2	23.7	0.2	1.7	38.9
24年3月卒	0.2	0.0	0.0	1.0	23.7	0.3	1.8	39.0
25年3月卒	0.4	0.04	0.04	1.1	20.8	0.1	2.0	43.0
26年3月卒	0.4	0.04	0.02	1.3	21.2	0.4	1.8	43.0
(分母:5,100人)	20人	2人	1人	65人	1,082人	22人	93人	2,193人

	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	教育・学習支援事業	医療・福祉	各種サービス業	公務	その他
元年3月卒	1.6	0.1	—	—	24.5	0.7	0.7
6年3月卒	1.4	0.1	—	—	33.1	0.7	1.0
11年3月卒	0.8	0.1	—	—	37.5	0.6	0.8
16年3月卒	0.6	0.1	0.3	13.9	19.6	0.9	0.7
19年3月卒	0.6	0.1	0.3	12.0	13.1	1.0	0.7
20年3月卒	0.8	0.1	0.3	10.8	13.6	1.4	0.6
21年3月卒	0.7	0.1	0.3	11.6	14.4	1.6	0.6
22年3月卒	0.5	0.2	0.4	17.4	14.3	0.8	0.6
23年3月卒	0.4	0.2	0.4	17.4	13.5	0.9	0.9
24年3月卒	0.6	0.2	0.3	18.0	13.1	0.9	0.8
25年3月卒	0.4	0.3	0.4	17.4	12.2	1.3	0.4
26年3月卒	0.5	0.3	0.4	15.6	13.1	1.1	0.7
(分母:5,100人)	24人	17人	22人	797人	670人	57人	35人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

3. 小学科別学科数及び生徒数の推移

①学科数

小学科	学科数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
家政関係	383	283	245	193	179	172	164	161	159	152	149
被服関係	83	58	48	42	41	39	37	36	31	31	32
食物関係	66	99	95	93	94	95	94	91	94	98	96
調理関係	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保育関係	36	17	11	11	11	11	12	12	12	13	13
その他	95	70	69	49	50	46	41	39	39	38	39
計	698	527	468	388	375	363	348	339	335	332	329

②生徒数

(人)

小学科	生徒数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
家政関係	54,243	39,616	29,504	23,015	21,947	21,302	20,722	20,643	20,605	20,065	19,956
被服関係	11,103	7,205	4,884	4,174	4,003	3,817	3,540	3,435	3,107	3,097	3,122
食物関係	8,731	14,140	13,529	12,924	12,812	12,642	12,700	12,565	12,810	13,165	13,319
調理関係	6,136	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保育関係	4,608	2,629	2,310	2,238	1,958	1,859	1,980	2,079	2,158	2,165	2,105
その他	11,786	8,851	6,426	5,557	5,287	4,694	4,486	4,425	4,453	4,285	4,385
計	96,607	72,441	56,653	47,908	46,007	44,314	43,428	43,147	43,133	42,777	42,887

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

高等学校 「家庭科」(専門教科) 前回改訂のポイント

- 原則履修科目：「生活産業基礎」「課題研究」
- 科目構成：「被服製作」を「ファッション造形基礎」と「ファッション造形」に再構成するなど現行の19科目から20科目で構成。
- 主な改善事項
 - ・ 消費者ニーズの的確な把握や必要なサービス提供等を行う企画力やマネジメント能力の育成への対応
 - ・ 生活文化の伝承や消費、環境への対応
 - ・ 職業人として求められる倫理観の育成や食の安全等への対応

(1) 科目構成(別紙1)

(2) 各科目の改善事項

- 「生活産業基礎」において、消費者のニーズを把握し、生活の変化に対応した商品・サービスの企画・開発から販売・提供する内容を取り扱うことを明示するなど内容を充実。
- 「消費生活」において、消費者と企業や行政とのかかわり及び連携の在り方等に関する内容を取り扱うことを明示するなど内容を充実。
- 「リビングデザイン」において、日本と世界の住生活と文化にかかわる内容を充実。
- 「服飾文化」において、日本と世界の服飾にかかわる内容を充実。
- 「消費生活」において消費生活と環境とのかかわりや持続可能なライフスタイルの形成に関する内容を充実。
- 教科の目標に、生活産業を取り巻く諸課題を倫理観をもって解決し、生活の質の向上と社会の発展を図る能力と態度を育てることを明記。
- 「食品」において、食品の表示にかかわる法規や制度など取り扱うことを明示し、食品を適切に選択、活用して食生活の充実向上を図る内容を充実。

家庭科(専門)における系統表・構成表(現行)

教科の目標

家庭の生活にかかわる産業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生活産業の社会的な意義や役割を理解させるとともに、生活産業を取り巻く諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

育成する人材像

少子高齢社会の進展や食育の推進、ライフスタイルの多様化に対応した、衣食住、保育等のヒューマンサービスに関わる生活産業のスペシャリスト

育成する力

- 家庭の生活に関わる産業に関する基礎的・基本的な知識と技術
- 生活産業の社会的な意義や役割の理解
- 生活産業を取り巻く諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度

分野と科目構成

課題研究 (原則履修科目)

衣分野

服飾文化
ファッション造形基礎
ファッション造形
ファッションデザイン
服飾手芸

食分野

フードデザイン
調理師養成課程履修科目
食文化 調理 栄養
食品 食品衛生
公衆衛生

住分野

リビングデザイン

ヒューマンサービス分野

子どもの発達と保育
子ども文化
生活と福祉

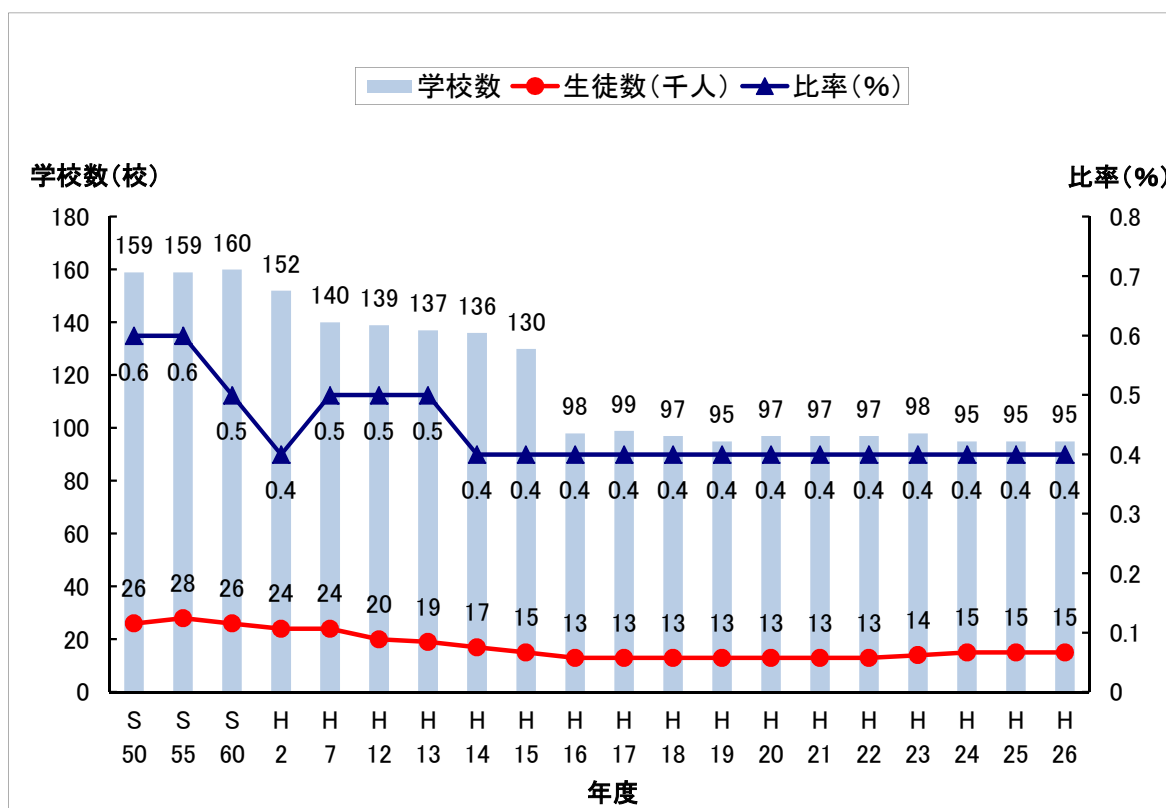
生活産業基礎(原則履修科目)

生活産業情報

消費生活

看護高校の現状

1. 生徒数及び学校数の推移



年度	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
生徒数(千人)	26	28	26	24	24	20	19	17	15	13	13	13	13	13	13	13	14	15	15	15	
比率(%)	0.6	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
学校数	159	159	160	152	140	139	137	136	130	98	99	97	95	97	97	97	98	95	95	95	

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

(注1) 「比率」は全高校生に占める割合。

(注2) 昭和45年以前については学校基本統計(学校基本調査報告書)において該当項目がないため記載していない。

2. 生徒の進路状況

①進路状況 (%)

	大学・短大等	専修学校等	就職	その他
元年3月卒	26.3	39.7	31.9	2.1
6年3月卒	35.4	47.8	14.8	2.0
11年3月卒	38.1	43.3	13.6	4.9
16年3月卒	48.2	35.3	11.8	4.6
19年3月卒	79.6	10.1	6.7	3.6
20年3月卒	80.2	10.7	6.5	2.6
21年3月卒	78.9	11.6	6.1	3.4
22年3月卒	81.7	11.7	4.1	2.6
23年3月卒	81.0	12.3	4.1	2.6
24年3月卒	85.1	10.4	3.0	1.5
25年3月卒	84.4	9.5	4.1	1.9
26年3月卒	86.7	8.9	3.4	1.0

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

②職業別就職状況 (%)

	専門的・技術的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	保安職業従事者	農林業従事者	漁業従事者	運輸・通信従事者	生産工程従事者	輸送・機械運転従事者	建設・採掘従事者	運搬・清掃等従事者	その他
元年3月卒	80.1	0.5	0.3	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	—	—	—	0.8
6年3月卒	80.7	0.4	1.0	17.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.3	—	—	—	0.5
11年3月卒	86.5	0.5	1.3	10.8	0.1	0.0	0.0	0.1	0.5	—	—	—	0.1
16年3月卒	84.8	0.7	0.4	12.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.6	—	—	—	0.6
19年3月卒	65.5	2.0	4.3	21.4	1.2	0.0	0.0	0.3	4.3	—	—	—	0.9
20年3月卒	51.9	1.6	4.3	30.7	3.1	0.3	0.0	1.6	2.8	—	—	—	3.7
21年3月卒	64.3	1.2	2.8	26.1	1.6	0.0	0.0	0.9	2.5	—	—	—	0.6
22年3月卒	74.8	1.3	1.7	17.6	0.8	0.0	0.0	0.0	2.5	—	—	—	1.3
23年3月卒	74.8	1.3	1.7	17.6	0.8	0.0	0.0	—	2.5	—	—	—	1.3
24年3月卒	71.3	0.6	1.8	22.8	0.6	0.0	0.0	—	0.6	—	—	—	2.3
25年3月卒	59.3	2.2	5.3	16.4	0.9	0.0	0.0	—	13.3	0.4	0.4	0.9	0.9
26年3月卒	70.6	3.5	1.3	21.1	0.9	0.0	0.0	—	0.4	0.9	0.9	0.0	0.4
(分母:228人)	161人	8人	3人	48人	2人	0人	0人	—	1人	2人	2人	0人	1人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

③産業別就職状況 (%)

	農業・林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸業・郵便業・情報通信業	卸売業・小売業・飲食店・宿泊業
元年3月卒	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.4
6年3月卒	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1	1.8
11年3月卒	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.0	0.1	1.3
16年3月卒	0.1	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	1.7
19年3月卒	0.0	0.0	0.0	0.6	2.6	0.0	0.9	4.9
20年3月卒	0.0	0.0	0.0	0.6	2.2	0.6	1.9	7.4
21年3月卒	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.9	7.1
22年3月卒	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	0.0	0.4	3.8
23年3月卒	0.0	0.0	0.0	0.5	1.8	0.0	0.5	2.3
24年3月卒	0.0	0.0	0.0	0.6	1.2	0.0	0.0	5.3
25年3月卒	0.0	0.0	0.0	1.3	13.7	1.3	1.3	10.2
26年3月卒	0.0	0.0	0.0	1.3	0.4	0.0	3.1	5.3
(分母:228人)	0人	0人	0人	3人	1人	0人	7人	12人

	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	教育・学習支援事業	医療・福祉	各種サービス業	公務	その他
元年3月卒	0.0	0.0	—	—	95.4	0.2	3.4
6年3月卒	0.1	0.0	—	—	96.9	0.1	0.8
11年3月卒	0.0	0.0	—	—	97.1	0.0	0.9
16年3月卒	0.0	0.0	0.0	90.5	6.0	0.4	0.5
19年3月卒	0.0	0.0	0.0	81.2	8.7	0.9	0.3
20年3月卒	0.0	0.0	0.0	73.0	11.2	3.1	0.0
21年3月卒	0.0	0.0	0.0	80.7	5.9	1.9	0.0
22年3月卒	0.0	0.0	0.0	89.1	2.9	1.3	0.0
23年3月卒	0.0	0.0	0.0	71.0	23.0	0.9	0.0
24年3月卒	0.0	0.0	0.0	83.6	7.6	0.6	1.2
25年3月卒	0.0	0.0	0.4	67.7	2.2	1.3	0.4
26年3月卒	0.0	0.0	1.3	84.2	3.5	0.9	0.0
(分母:228人)	0人	0人	3人	192人	8人	2人	0人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

3. 小学科別学科数及び生徒数の推移

①学科数

小学科	学科数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
看護関係	143	139	93	92	94	96	94	96	93	95	95
計	143	139	93	92	94	96	94	96	93	95	95

②生徒数

(人)

小学科	生徒数										
	6年度	11年度	16年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
看護関係	23,796	21,034	13,521	13,020	12,794	12,774	13,176	13,854	14,559	14,831	14,811
計	23,796	21,034	13,521	13,020	12,794	12,774	13,176	13,854	14,559	14,831	14,811

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

高等学校 「看護科」（専門教科）前回改訂のポイント

- 原則履修科目：「基礎看護」「看護臨地実習」
- 科目構成：「看護の統合と実践」や「在宅看護」などの科目を新設するなど現行の6科目から13科目で構成。
- 主な改善事項
 - ・医療の高度化等に対応した、専門性の高い看護判断能力、安全で確実な看護技術の育成への対応
 - ・看護倫理やコミュニケーション能力などの豊かな人間性を身に付けた人材の育成への対応

（１）科目構成（別紙１）

（２）各科目の改善事項

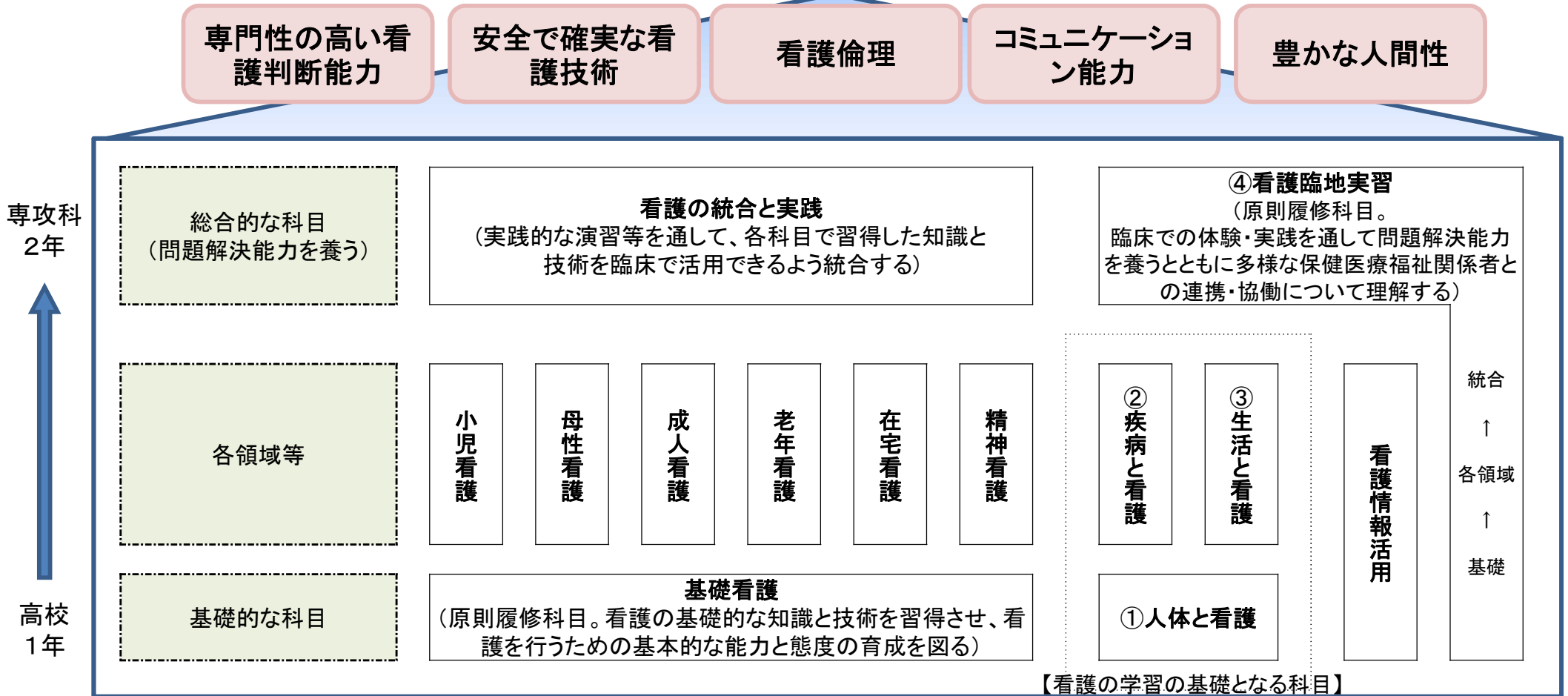
- 看護に関する専門分野の学習の基礎となる科目として教育内容を充実するため、「看護基礎医学」の内容を分類整理し、「人体と看護」、「疾病と看護」、「生活と看護」として独立した科目に再構成。
- 高齢化の進展等に伴い、老年看護学の専門領域の教育内容を充実するとともに、対象者の様々な状態や状況に対応し、「成人・老人看護」のそれぞれの専門領域の教育内容を充実するため、「成人看護」、「老年看護」、「精神看護」、「在宅看護」として独立した科目に再構成。
- 母性看護学及び小児看護学の分野の専門性に応じて、「母子看護」のそれぞれの専門領域の教育内容を充実するため、「母性看護」、「小児看護」として独立した科目に再構成。
- 看護に関する各科目で学習した内容を臨床で実際に活用していくことができるよう、知識・技術を統合する内容として、「看護の統合と実践」を新設。
- 臨床での看護実習に限らず、様々な看護実践の場で実習することにより内容を充実するため、「看護臨床実習」を「看護臨地実習」に変更。
- 看護・医療の分野における情報及び情報手段を活用する能力の育成について内容を充実するため、「看護情報処理」を「看護情報活用」に変更。

教科「看護」の科目構成

現 行	従 来	備 考
基礎看護	基礎看護	
人体と看護	看護基礎医学	分類整理
疾病と看護		
生活と看護		
成人看護	成人・老人看護	分類整理
老年看護		
精神看護		
在宅看護		
母性看護	母子看護	分類整理
小児看護		
看護の統合と実践		新設
看護臨地実習	看護臨床実習	名称変更
看護情報活用	看護情報処理	名称変更

看護科における系統表・構成表（現行）

教科の目標	看護に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、看護の本質と社会的な意義を理解させるとともに、国民の健康の保持増進に寄与する能力と態度を育てる。
育成する人材像	地域社会の医療を支え、国民の健康の保持増進に寄与する人材

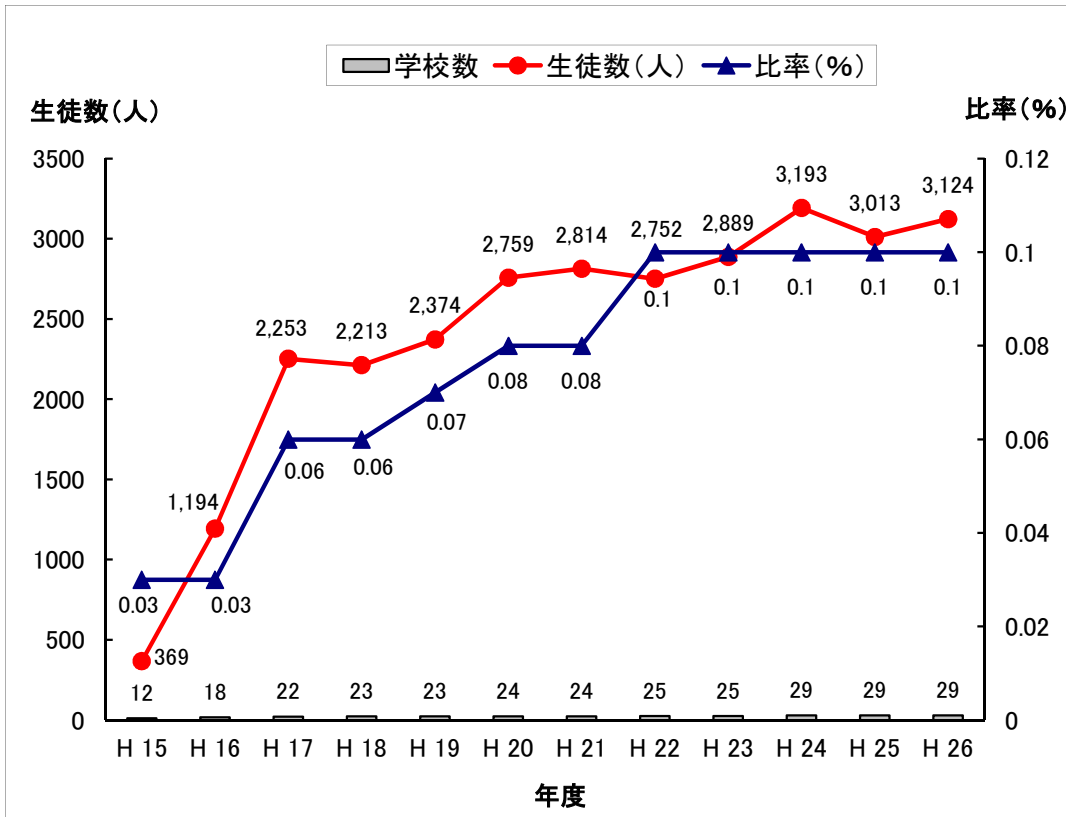


【①～④の学習内容】

- ①人体と看護－人体の構造と機能、栄養、感染と免疫
- ②疾病と看護－疾病の成り立ちと回復の過程、薬物と薬理
- ③生活と看護－精神保健、生活と健康、社会保障制度と福祉
- ④看護臨地実習－基礎看護、小児看護、母性看護、成人看護、老年看護、精神看護、在宅看護、看護の統合と実践

情報科高校の現状

1. 生徒数及び学校数の推移



年度	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26
生徒数(人)	369	1194	2253	2213	2374	2759	2814	2752	2889	3193	3013	3124
比率(%)	0.03	0.03	0.06	0.06	0.07	0.08	0.08	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
学校数	12	18	22	23	23	24	24	25	25	29	29	29

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

(注1) 「比率」は全高校生に占める割合。

(注2) 平成14年以前については学校基本統計(学校基本調査報告書)において該当項目がないため記載していない。

2. 生徒の進路状況

①進路状況 (%)

	大学・短大等	専修学校等	就職	その他
18年3月卒	53.7	22.1	18.9	5.3
19年3月卒	50.9	22.9	23.9	2.3
20年3月卒	43.2	25.4	27.9	3.5
21年3月卒	51.5	19.4	21.5	7.5
22年3月卒	44.8	29.3	20.3	5.6
23年3月卒	39.4	30.6	23.3	6.7
24年3月卒	34.1	33.3	27.3	5.2
25年3月卒	38.9	33.5	20.7	6.9
26年3月卒	36.1	34.8	22.8	6.3

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

②職業別就職状況 (%)

	専門的・ 技術的職 業従事者	事務 従事者	販 売 従事者	サービ ス 職 業 従事者	保 安 職 業 従事者	農林業 従事者	漁 業 従事者	運輸・ 通 信 従事者	生産工程 従事者	輸送・機 械運転従 事者	建設・採 掘従事者	運搬・清 掃等従事 者	その他
18年3月卒	7.5	26.4	9.4	13.2	3.8	0.0	0.0	7.5	30.2	—	—	—	1.9
19年3月卒	5.4	31.5	4.3	15.2	1.1	0.0	0.0	1.1	41.3	—	—	—	—
20年3月卒	8.1	21.9	16.9	7.5	5.6	0.0	0.0	5.6	30.0	—	—	—	4.4
21年3月卒	10.6	22.0	8.3	14.4	1.5	0.0	0.0	5.3	37.1	—	—	—	0.8
22年3月卒	12.1	25.8	7.6	16.7	3.0	0.0	0.0	3.8	28.8	—	—	—	2.3
23年3月卒	8.2	19.4	10.6	15.3	4.1	0.0	0.0	—	31.2	1.2	2.9	1.8	5.3
24年3月卒	5.0	13.6	7.4	25.2	4.1	0.4	0.0	—	33.5	0.8	3.3	2.5	4.1
25年3月卒	7.7	19.2	9.0	25.6	5.1	1.9	0.0	—	28.2	0.6	0.6	1.3	0.6
26年3月卒	2.9	22.1	7.4	22.5	10.3	0.0	0.0	—	26.5	2.9	1.5	2.9	1.0
(分母:204人)	6人	45人	15人	46人	21人	0人	0人	—	54人	6人	3人	6人	2人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

③産業別就職状況 (%)

	農業・林 業	漁業	鉱業、採石 業、砂利採 取業	建設業	製造業	電気・ガ ス・熱供 給・水道業	運輸業・郵 便業・情報 通信業	卸売業・小 売業・飲食 店・宿泊業
18年3月卒	0.0	0.0	0.0	0.0	37.7	0.0	17.0	20.8
19年3月卒	0.0	0.0	0.0	2.2	53.3	0.0	9.8	14.1
20年3月卒	0.0	0.0	0.0	1.3	40.0	1.9	13.7	15.0
21年3月卒	0.0	0.0	0.8	1.5	43.9	0.0	12.9	20.5
22年3月卒	0.0	0.0	0.0	2.3	35.6	0.0	8.3	22.0
23年3月卒	0.0	0.0	0.0	4.1	37.1	1.8	7.6	23.5
24年3月卒	0.4	0.0	0.0	4.5	41.3	0.8	7.0	16.5
25年3月卒	1.9	0.0	0.0	1.9	32.7	2.6	11.5	21.2
26年3月卒	0.0	0.0	0.0	2.0	28.4	1.0	15.7	18.1
(分母:204人)	0人	0人	0人	4人	58人	2人	32人	37人

	金融業・ 保険業	不動産 業・物品 賃貸業	教育・学 習支援 事業	医療・福 祉	各種サー ビス業	公務	その他
18年3月卒	5.7	1.9	0.0	0.0	11.3	5.7	0.0
19年3月卒	3.3	1.1	0.0	0.0	15.2	1.1	0.0
20年3月卒	4.4	0.6	0.0	1.9	10.6	6.9	3.7
21年3月卒	2.3	0.8	0.0	4.5	12.1	0.8	0.0
22年3月卒	2.3	0.0	0.8	5.3	12.1	9.8	1.5
23年3月卒	1.2	0.0	0.0	7.1	10.0	4.1	3.5
24年3月卒	0.8	0.4	0.0	9.1	13.6	3.3	2.1
25年3月卒	2.6	0.6	0.0	5.1	12.2	7.7	0.0
26年3月卒	2.0	0.5	0.0	6.9	15.2	9.8	0.5
(分母:204人)	4人	1人	0人	14人	31人	20人	1人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

3. 小学科別学科数及び生徒数の推移

①学科数

小学科	学科数								
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
情報システム設計管理関係	13	16	19	18	18	19	20	19	19
マルチメディア関係	3	3	4	4	4	5	5	5	5
計	16	19	23	22	22	24	25	24	24

②生徒数

(人)

小学科	生徒数								
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
情報システム設計管理関係	1,958	2,089	2,343	2,395	2,334	2,470	2,771	2,557	2,677
マルチメディア関係	255	285	416	419	418	419	422	456	447
計	2,213	2,374	2,759	2,814	2,752	2,889	3,193	3,013	3,124

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

高等学校 「情報科」(専門教科) 前回改訂のポイント

- 原則履修科目：「情報産業と社会」「課題研究」
- 科目構成：「情報と問題解決」、「情報テクノロジー」などを新設するなど現行の11科目から13科目で構成。
- 主な改善事項
 - ・ 情報技術の進展や情報産業の構造の変化等への対応
 - ・ 情報に関する各分野の学習で習得した知識と技術を総合的に活用するとともに問題を適切に解決する能力や態度の育成への対応
 - ・ 職業人としての倫理観や遵法精神などの育成への対応

(1) 科目構成(別紙1)

(2) 各科目の改善事項

- 情報の各分野に関する共通的な内容を学ぶ科目として「情報と問題解決」、「情報テクノロジー」を新設するとともに、「情報と表現」について、情報を表現するとともに適切に管理し活用する能力と態度を育成するよう内容を見直し、「情報の表現と管理」に名称変更。
- 実習を通して、各分野の学習で習得した知識と技術を総合的に活用する能力や態度の育成を目指した「情報システム実習」、「情報コンテンツ実習」を新設。
- 「モデル化とシミュレーション」を情報と情報手段を活用した問題の発見と解決に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる「情報と問題解決」に整理統合。
- 教科の目標に、情報社会の諸課題を倫理観をもって解決し、情報産業と社会の発展を図る能力と態度を育てることを明記。
- 「情報産業と社会」において技術や情報の守秘義務や法令遵守など、「ネットワークシステム」において人為的過失や自然災害に対する安全対策などを取り上げ、情報技術者としての倫理観や遵法精神を育てる内容を充実。

専門教科「情報」の科目構成

現 行	従 来	備 考
情報産業と社会	情報産業と社会	
課題研究	課題研究	
情報の表現と管理	情報実習 情報と表現	分類整理 名称変更
情報と問題解決		新設
情報テクノロジー		新設
アルゴリズムとプログラム	アルゴリズム	名称変更
ネットワークシステム	情報システムの開発 ネットワークシステム	
データベース	モデル化とシミュレーション	整理統合
情報システム実習		新設
情報メディア		新設
情報デザイン	コンピュータデザイン	名称変更
情報メディアの編集と表	図形と画像の処理 マルチメディア表現	整理統合
情報コンテンツ実習		

情報科(専門)における系統表・構成表(現行)

教科の目標

情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における情報の意義や役割を理解させるとともに、情報社会の諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、情報産業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

育成する人材像

情報に関する知識と技術を習得し、変化の激しい情報社会に対応するために学び続けるとともに、地域の企業等の問題を発見し解決することができる人材

【総合的科目】

課題研究(原則履修科目)

【各分野の科目】

システムの設計・管理分野の科目

情報システム実習

↑
アルゴリズムと
プログラム

↑
ネットワーク
システム

↑
データベース

情報コンテンツの制作・発信分野の科目

情報システム実習

↑
情報メディア

↑
情報デザイン

↑
表現メディアの
編集と表現

【基礎的科目】

情報の表現と管理

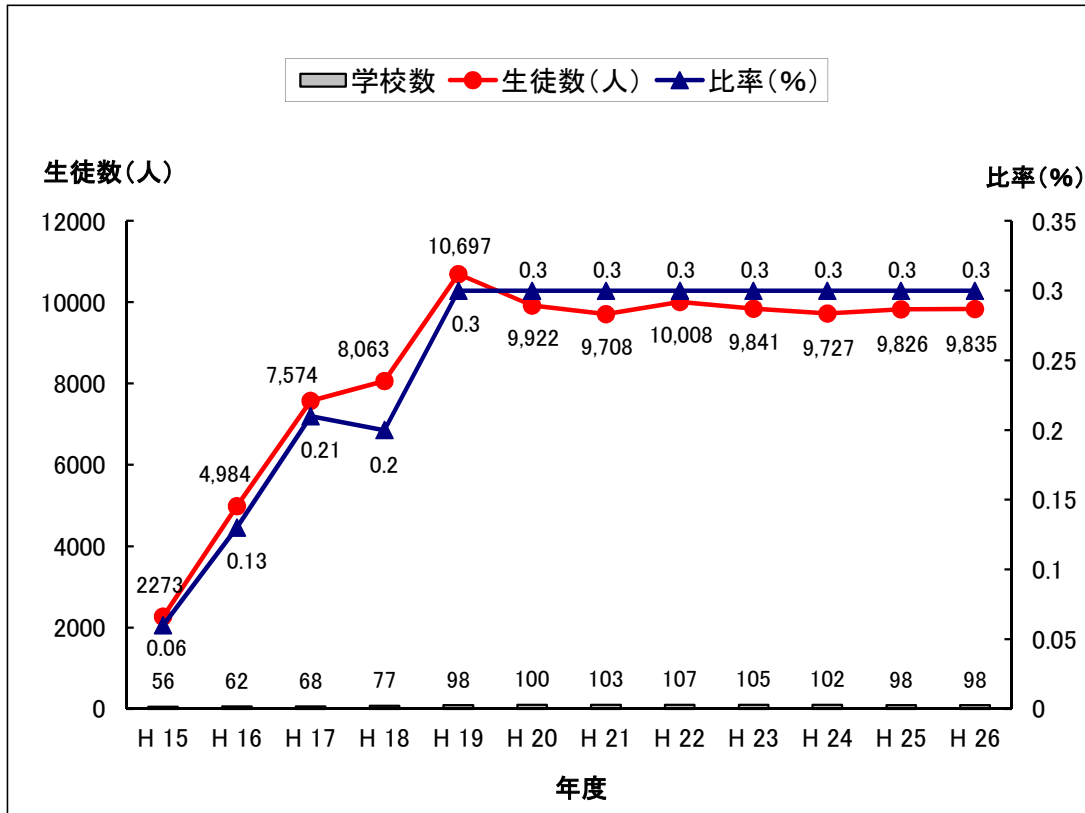
情報と問題解決

情報テクノロジー

情報産業と社会(原則履修科目)

福祉科高校の現状

1. 生徒数及び学校数の推移



年度	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26
生徒数(人)	2273	4984	7574	8063	10697	9922	9708	10008	9841	9727	9826	9835
比率(%)	0.06	0.13	0.21	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
学校数	56	62	68	77	98	100	103	107	105	102	98	98

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

(注1) 「比率」は全高校生に占める割合。

(注2) 平成14年以前については学校基本統計(学校基本調査報告書)において該当項目がないため記載していない。

2. 生徒の進路状況

①進路状況 (%)

	大学・短大等	専修学校等	就職	その他
18年3月卒	21.6	25.4	44.6	8.4
19年3月卒	19.0	24.9	49.0	7.1
20年3月卒	20.3	24.7	48.1	6.9
21年3月卒	19.5	26.2	47.7	6.6
22年3月卒	18.0	26.7	47.8	7.5
23年3月卒	20.4	27.2	45.4	7.0
24年3月卒	18.5	25.2	51.5	4.8
25年3月卒	19.4	24.6	52.5	3.6
26年3月卒	18.6	25.2	52.3	3.8

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

②職業別就職状況 (%)

	専門的・ 技術的職 業従事者	事務 従事者	販売 従事者	サービス 職業 従事者	保安 職業 従事者	農林業 従事者	漁業 従事者	運輸・ 通信 従事者	生産工程 従事者	輸送・機 械運転従 事者	建設・採 掘従事者	運搬・清 掃等従事 者	その他
18年3月卒	42.3	2.3	3.2	39.4	1.0	0.0	0.1	0.1	8.9	—	—	—	2.6
19年3月卒	44.1	1.6	4.9	38.2	1.3	0.0	0.0	0.7	8.8	—	—	—	0.3
20年3月卒	36.5	1.9	4.4	46.2	1.5	0.0	0.0	0.6	8.6	—	—	—	0.3
21年3月卒	43.3	2.7	3.1	39.9	1.0	0.1	0.0	0.3	8.7	—	—	—	0.9
22年3月卒	51.5	1.3	2.2	37.6	1.1	0.1	0.0	0.3	5.3	—	—	—	0.5
23年3月卒	37.7	0.8	1.5	51.3	0.4	0.1	0.2	—	5.4	0.2	0.4	0.2	1.6
24年3月卒	44.6	0.9	1.9	47.8	0.3	0.1	0.0	—	2.9	0.1	0.7	0.4	0.3
25年3月卒	27.2	0.7	1.6	64.3	0.8	0.1	0.0	—	3.3	0.2	0.4	0.2	1.2
26年3月卒	20.9	0.5	2.1	68.4	1.3	0.0	0.1	—	3.0	0.1	0.9	0.6	2.2
(分母:1,545人)	323人	7人	32人	1,057人	20人	0人	1人	—	47人	1人	14人	9人	34人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

③産業別就職状況 (%)

	農業・林 業	漁業	鉱業・採石 業、砂利採 取業	建設業	製造業	電気・ガ ス・熱供 給・水道業	運輸業・郵 便業・情報 通信業	卸売業・小 売業・飲食 店・宿泊業
18年3月卒	0.0	0.1	0.0	0.6	7.9	0.0	0.2	7.3
19年3月卒	0.0	0.0	0.0	0.8	7.9	0.1	1.6	7.8
20年3月卒	0.0	0.0	0.0	0.3	7.1	0.9	1.2	8.5
21年3月卒	0.1	0.0	0.0	1.0	7.7	0.0	1.0	7.3
22年3月卒	0.1	0.0	0.0	0.7	4.2	0.2	0.7	4.7
23年3月卒	0.2	0.1	0.0	0.8	5.2	0.1	0.4	3.8
24年3月卒	0.1	0.0	0.0	0.8	3.0	0.1	0.7	3.6
25年3月卒	0.1	0.0	0.0	0.5	3.1	0.0	0.7	2.9
26年3月卒	0.0	0.1	0.0	0.8	2.8	0.0	0.8	3.8
(分母:1,545人)	0人	1人	0人	13人	44人	0人	13人	59人

	金融業・ 保険業	不動産 業・物品 賃貸業	教育・学 習支援 事業	医療・福 祉	各種サー ビス業	公務	その他
18年3月卒	0.1	0.0	0.0	75.2	5.1	1.4	2.1
19年3月卒	0.1	0.0	0.0	75.7	4.5	1.3	0.1
20年3月卒	0.1	0.1	0.1	74.3	6.0	1.2	0.2
21年3月卒	0.1	0.0	0.1	75.3	5.4	1.6	0.4
22年3月卒	0.1	0.0	0.3	82.0	6.3	0.3	0.5
23年3月卒	0.1	0.0	0.1	85.7	3.0	0.5	0.1
24年3月卒	0.1	0.0	1.2	86.9	3.0	0.5	0.1
25年3月卒	0.0	0.1	0.1	88.8	2.9	0.7	0.1
26年3月卒	0.1	0.0	0.1	88.2	3.0	0.3	0.0
(分母:1,545人)	1人	0人	1人	1,363人	46人	4人	0人

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

3. 小学科別学科数及び生徒数の推移

①学科数

小学科	学科数								
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
福祉関係	74	95	100	106	109	104	99	98	99
計	74	95	100	106	109	104	99	98	99

②生徒数

(人)

小学科	生徒数								
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
福祉関係	8,063	10,697	9,922	9,708	10,008	9,841	9,727	9,826	9,835
計	8,063	10,697	9,922	9,708	10,008	9,841	9,727	9,826	9,835

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

高等学校 「福祉科」(専門教科) 前回改訂のポイント

- 原則履修科目：「社会福祉基礎」「介護総合演習」
- 科目構成：介護福祉士にかかる制度改正等を踏まえ、「生活支援技術」、「介護過程」を新設するなど現行の7科目から9科目で構成
- 主な改善事項
 - ・介護分野における多様で質の高い福祉サービスを提供できる人材の育成への対応
 - ・介護福祉士にかかる制度改正等への対応

(1) 科目構成(別紙1)

(2) 各科目の改善事項

- 自立に向けた状態別の介護として、適切な介護技術を用いて、安全に援助できる知識や技術について習得することをねらいとして「生活支援技術」を新設。
- 福祉に関する他の科目で学習した知識や技術を統合し、介護過程の展開、介護計画の立案、介護サービスの提供ができる能力を養うことをねらいとして「介護過程」を新設。
- 介護技術の根拠となる人体の基礎構造や機能・心理及び介護サービスの提供における安全への留意点を理解し、心理的・社会的ケアの提供ができる能力を養うことをねらいとして「こころとからだの理解」を新設。
- 福祉に関する専門分野の学習の基礎となる科目として教育内容を充実するため、「社会福祉基礎」と「社会福祉制度」の内容を、「社会福祉基礎」に整理統合。
- 介護の考え方を理解するとともに、対象者を生活の観点からとらえる科目として内容を整理し、「基礎介護」を「介護福祉基礎」に名称を変更。
- 対人関係の基本やコミュニケーションの技術、対象者や援助的関係を理解する科目として内容を整理し、「社会福祉援助技術」を「コミュニケーション技術」に名称を変更。
- 介護実習に必要な知識や技術、介護過程の展開等について、総合的に学習する科目として内容を整理し、「社会福祉演習」を「介護総合演習」に名称を変更。
- 福祉に関する他の科目で学習した知識や技術を総合し、介護サービスを提供する実践力を習得する科目として内容を整理し、「社会福祉実習」を「介護実習」に名称を変更。

教科「福祉」の科目構成

現 行	従 来	備 考
社会福祉基礎	社会福祉基礎 社会福祉制度	整理統合
介護福祉基礎	基礎介護	名称変更
コミュニケーション技術	社会福祉援助技術	名称変更
生活支援技術		新設
介護過程		新設
介護総合演習	社会福祉演習	名称変更
介護実習	社会福祉実習	名称変更
こころとからだの理解		新設
福祉情報活用	福祉情報処理	名称変更

福祉科における系統表・構成表（現行）

教科の目標

社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的、体験的に習得させ、社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てる。

育成する人材像

地域福祉をはじめ福祉社会の健全で持続的な発展を担う職業人

科目の構成（9科目）

人間と社会	介護	こころとからだの理解
社会福祉基礎 福祉情報活用	介護福祉基礎 コミュニケーション技術 生活支援技術 介護過程 介護総合演習 介護実習	こころとからだの理解 ※医療的ケアを含む

福祉・介護人材

演習・実習領域（介護総合演習・介護実習）

介護方法・技術領域
（コミュニケーション技術・生活支援技術・介護過程）

福祉情報活用

人体及び障害等の医療領域
（こころとからだの理解）

基礎領域（社会福祉基礎・介護福祉基礎）